

2013年3月期実績 及び2014年3月期見込

財務責任者
見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各指標の注記は、slide30をご覧ください。



当資料取扱上の注意

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等



全社実績・見込

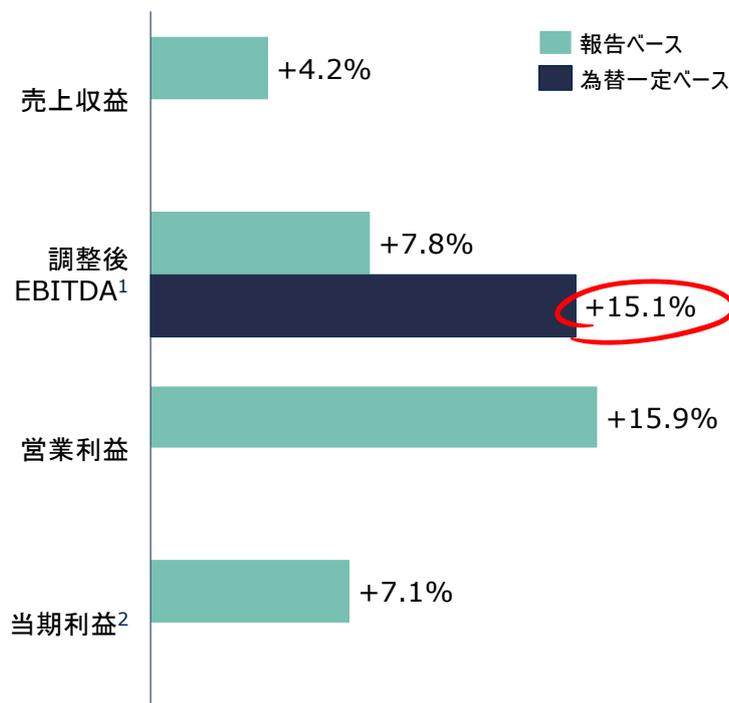


全社実績：
たばこ事業のトップライン成長に牽引され、力強い実績

主要指標成長率
(2012年3月期vs2013年3月期)

キー・ドライバー:

- たばこ事業のトップライン成長
 - 海外: 価格効果
販売数量増加
 - 国内: シェア回復
販売数量増加



全社見込：
力強い事業モメンタムを継続し、過去最高益を見込む

(億円,%)	2013年3月期	2014年3月期	対前年増減率
売上収益	21,202	23,680	+11.7%
調整後EBITDA ¹	6,221	7,300	+17.3%
営業利益	5,324	6,160	+15.7%
当期利益 ²	3,436	4,150	+20.8%
FCF	3,160	2,800	-11.4%
<u>為替一定ベース</u>			
調整後EBITDA ¹	6,221	6,600	+6.1%

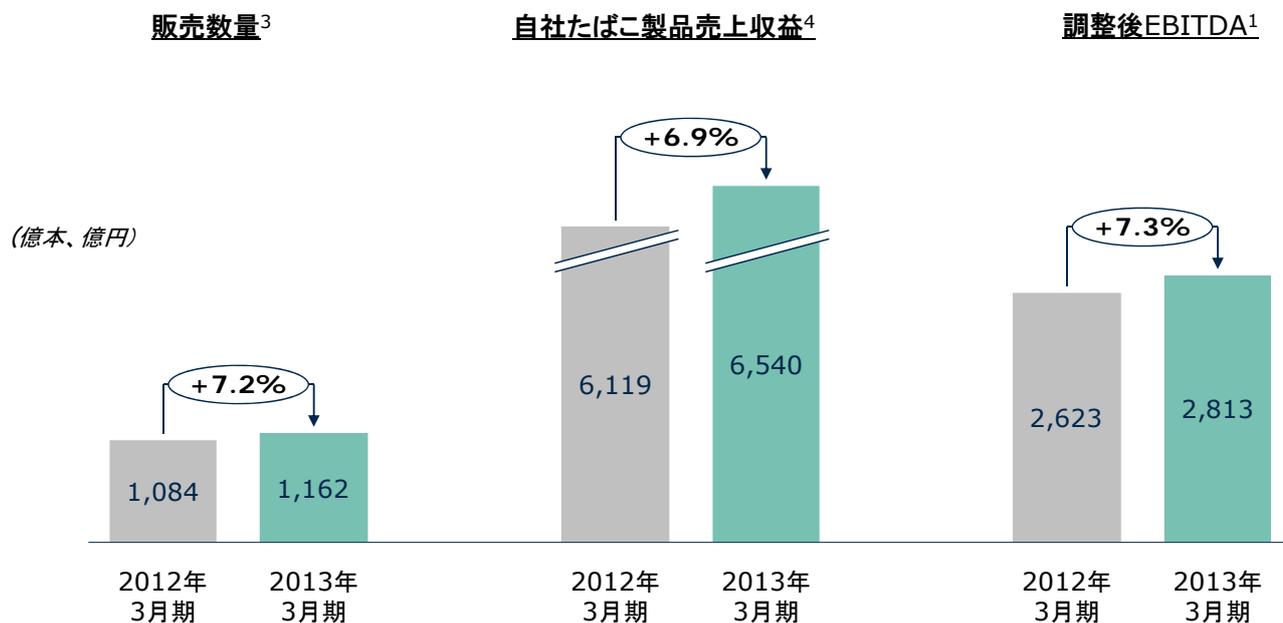
5

ひとの
ときを、
想う。 JT

たばこ事業

ひとの
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業(実績):
震災影響からのシェア回復に伴う販売数量の増加により増収増益

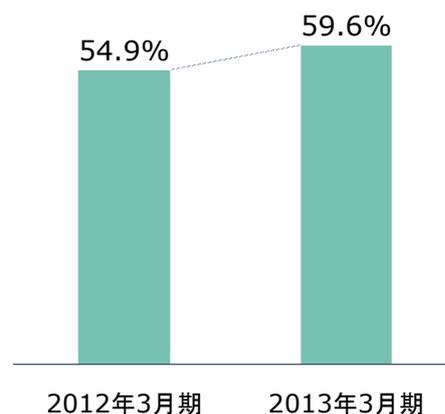
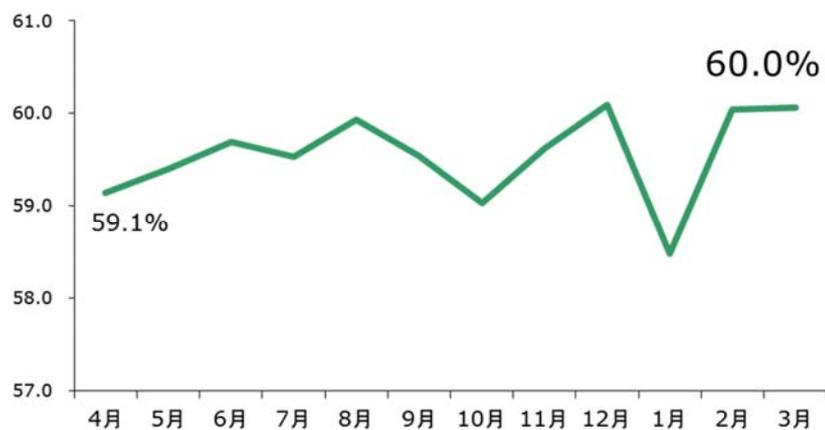


国内たばこ事業(実績):
ブランド・エクイティ強化に支えられた着実なシェア回復

- 2月-3月の単月シェアは60%に到達
- 対前年度+4.7pptのシェア回復
 - 2012年3月期:54.9% ⇒ 2013年3月期:59.6%

月次シェア推移

累計シェア推移



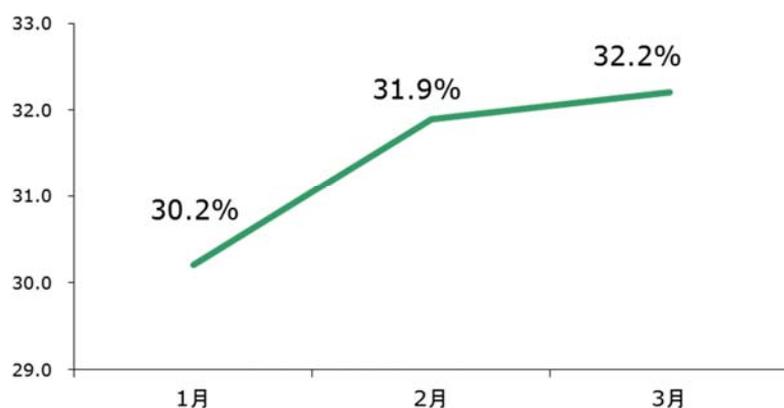
Source: TIOJ, JT内部データ



国内たばこ事業(実績): MEVIUSへの移行はスムーズに完了

- MEVIUSのファミリーシェアは毎月伸長
- 高いトライアル率を獲得
 - ✓ MILD SEVEN非主喫のお客様の約30%が名称変更後MEVIUSをトライ(独自調査結果)

MEVIUS月次シェア推移



Source: TIO, JT内部データ

このスライドは投資家に業績を説明する目的で作成されたものです。消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

9



海外たばこ事業(実績) : トップライン成長に牽引され、確固たる業績を達成

(億本, 百万US\$, %)	2011年	2012年	対前年増減率
総販売数量 ⁵	4,257	4,365	+2.5%
GFB販売数量	2,565	2,688	+4.8%
為替一定ベース ⁷			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	11,211	12,623	+12.6%*
調整後EBITDA ¹	3,944	4,830	+22.5%**
報告ベース			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	11,211	11,817	+5.4%
調整後EBITDA ¹	3,944	4,302	+9.1%
円ベース (億円)			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	8,946	9,431	+5.4%
調整後EBITDA ¹	3,148	3,433	+9.1%

*急激なインフレに対応するための単価上昇効果(2パーセントポイント)を含みます。これは、当該通貨の大幅な下落影響を緩和する目的で実施したものです。
**急激なインフレに対応するための単価上昇効果(6パーセントポイント)を含みます。これは、当該通貨の大幅な下落影響を緩和する目的で実施したものです。



中長期目標と
役割

- JTグループ利益成長の中核且つ牽引役として、中長期に亘って年平均mid to high single digit 成長を目指す
 - ✓ 国内: 高い競争優位性を保持する利益創出の中核事業
 - ✓ 海外: 利益成長の牽引役である、もう一つの中核事業

- 質の高いトップライン成長を最優先
 - ✓ 主要ブランドを中心としたブランドエクイティの更なる強化
 - ✓ 主要市場におけるシェアの維持・拡大
 - ✓ 収益基盤の地理的拡充
 - ✓ 新製品カテゴリーの創出

■ 不断のコスト改善



国内たばこ事業(見込):
MEVIUSを中心にブランド・エクイティの更なる向上に注力

- 総需要減少はあるものの、シェア回復及び消費税増税に伴う仮需影響により販売数量は2.4%増を見込む
 - ✓ 総需要減少: ▲2%~▲3%
 - ✓ 14年4月の消費税増税に伴う仮需: 0.3~0.5か月程度



(億本, 億円, %)	2013年3月期	2014年3月期	対前年増減	対前年増減率
販売数量 ³	1,162	1,190	+28	+2.4%
自社たばこ製品売上収益 ⁴	6,540	6,690	+150	+2.3%
調整後EBITDA ¹	2,813	2,910	+97	+3.4%

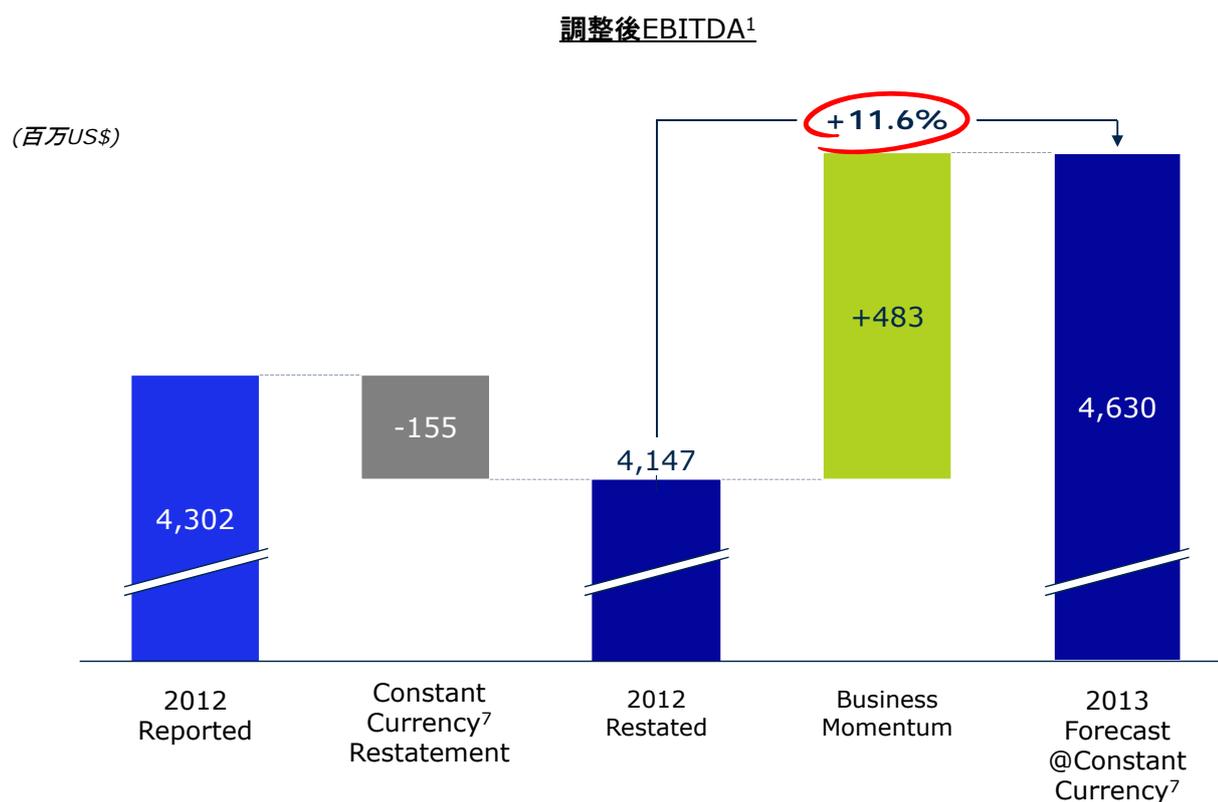


海外たばこ事業(見込):
為替一定ベース調整後EBITDA2ケタ成長を見込む

(億本,百万US\$,%)	2012年	2013年	対前年増減率
総販売数量 ⁵	4,365	4,320	-1.0%
GFB販売数量	2,688	2,730	+1.6%
<u>為替一定ベース⁷</u>			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	11,655	12,550	+7.7%
調整後EBITDA ¹	4,147	4,630	+11.6%
<u>報告ベース</u>			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	11,817	12,450	+5.4%
調整後EBITDA ¹	4,302	4,630	+7.6%
<u>円ベース(億円)</u>			
自社たばこ製品売上収益 ⁶	9,431	11,820	+25.3%
調整後EBITDA ¹	3,433	4,400	+28.2%

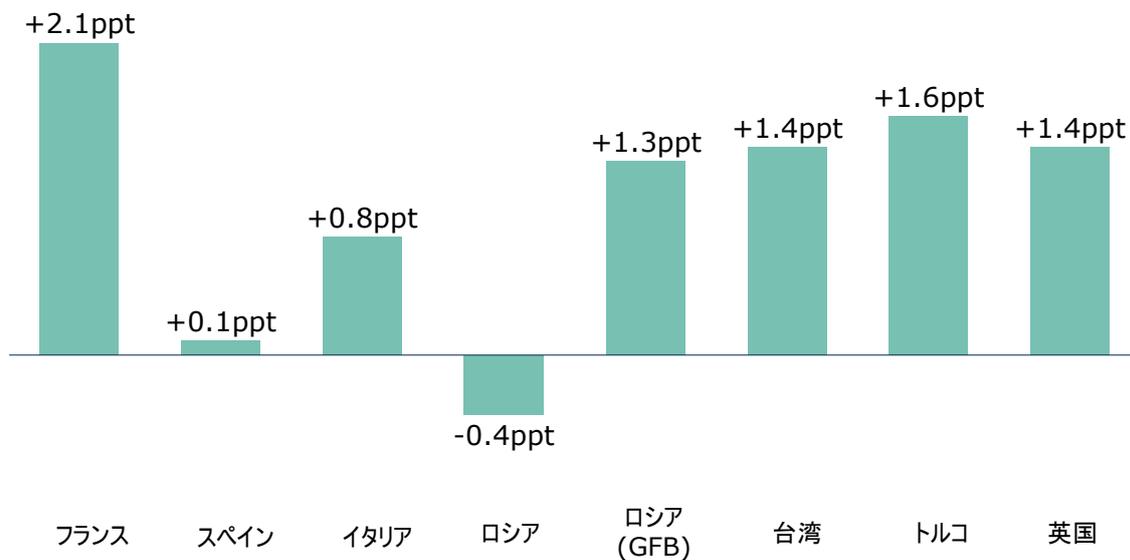


海外たばこ事業(見込):
GFB伸長、単価上昇効果がドライバー



海外たばこ事業(1-3月期速報):
 ほぼ全ての主要市場でシェア伸長

主要市場シェア*増減
 (2012年3月vs2013年3月)

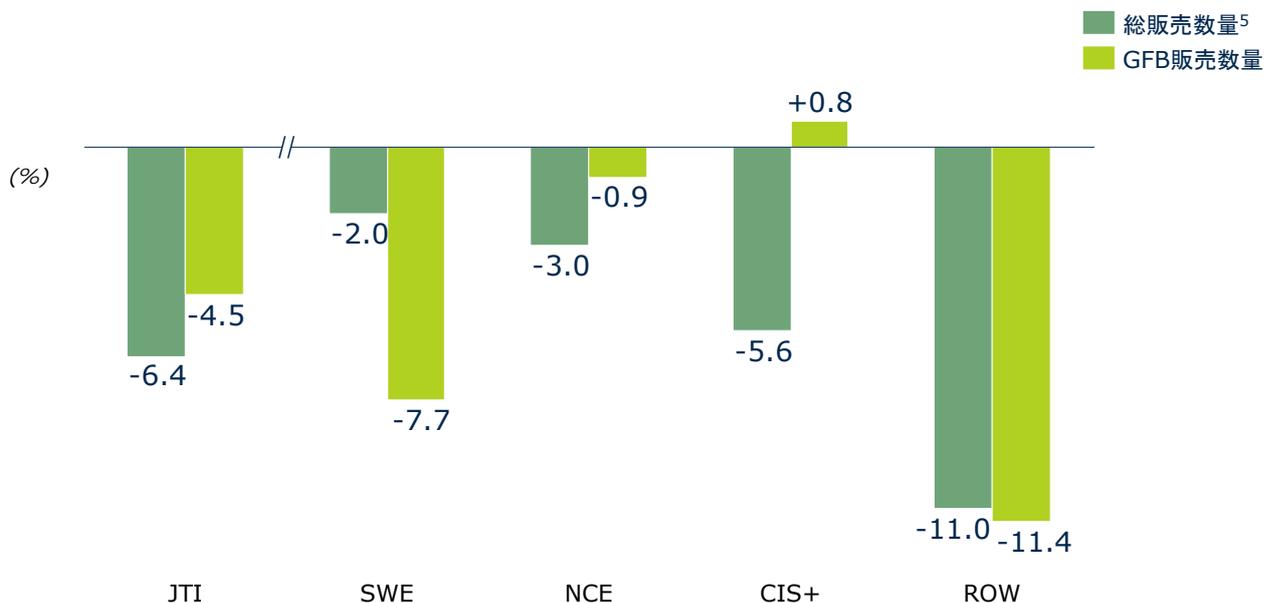


*12ヶ月移動平均
 Source: Nielsen, Logista, Altadis



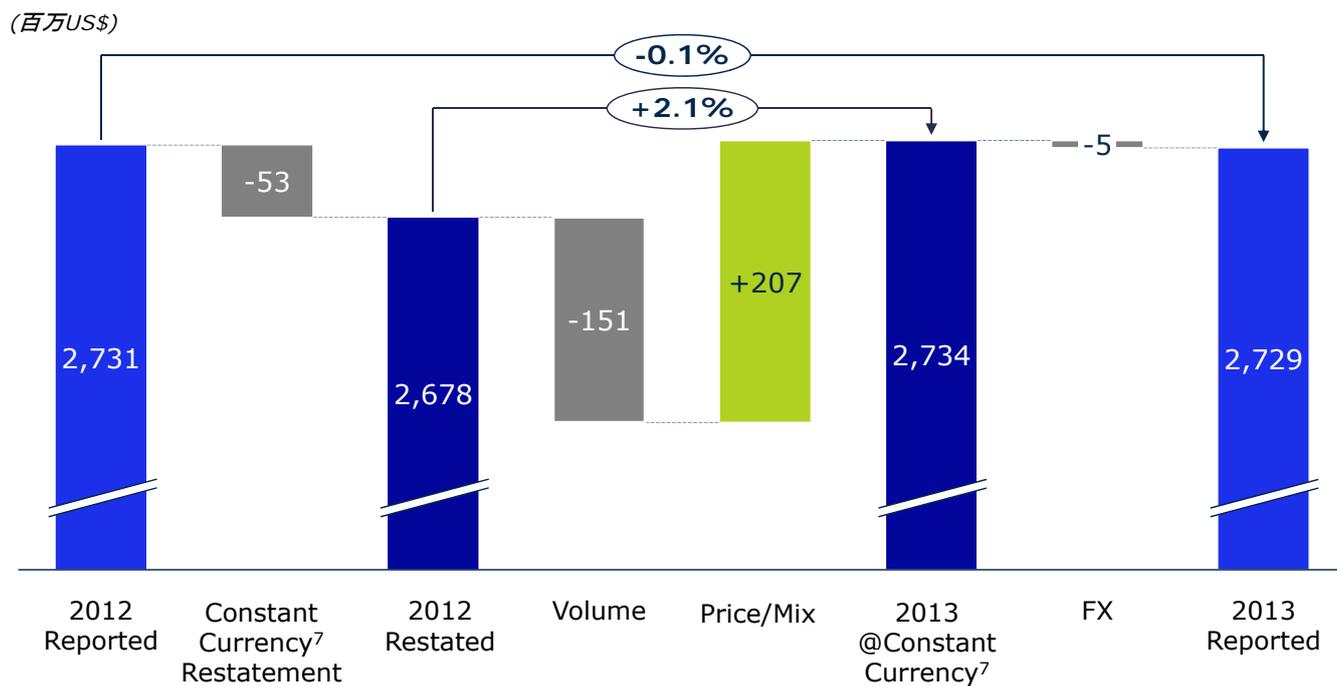
海外たばこ事業(1-3月期速報):
 総需要減少、流通在庫調整の影響

販売数量成長率
 (2012年1-3月期vs2013年1-3月期)



海外たばこ事業(1-3月期速報):
 単価上昇効果により自社たばこ製品売上収益は2.1%成長

自社たばこ製品売上収益⁶



医薬事業



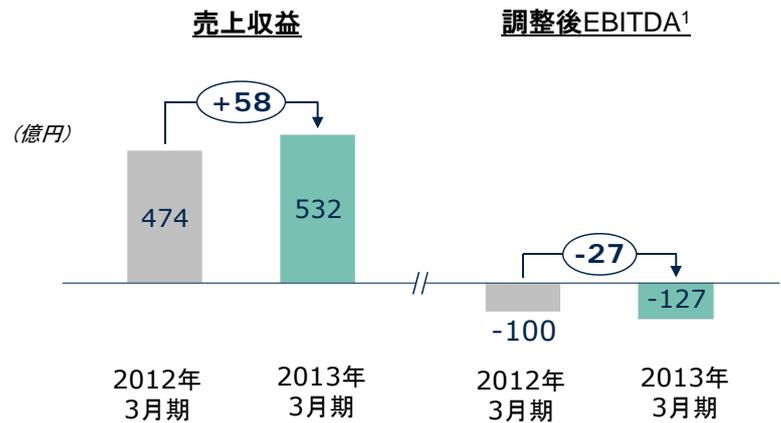
医薬事業(実績):
収益基盤の確立に向け、着実に進捗

売上収益

- 鳥居薬品での、レミッチカプセル、ツルバダ配合錠の伸長
- JTでの一時金収入の増

調整後EBITDA

- 開発の進展に伴う、研究開発費の増



【後期開発品の状況】

- JT初のオリジナル新薬(JTK-303)を含む「スタリビルド®配合錠」(HIV感染症)の承認取得・上市
 - ✓ 導出先:米国上市、欧州申請中
 - :JTK-303単剤としても米国、欧州で申請中
 - ✓ 国内:承認取得(5月14日発売)
- MEK阻害剤(メラノーマ)の導出先における承認申請
- 国内マーケットを対象とした2品の承認申請
 - ✓ JTT-751(高リン血症)
 - ✓ 鳥居薬品におけるTO-194SL(スギ花粉症)



医薬事業(見込):
収益基盤強化を受け、業績改善見込

中長期目標と役割

- 後期開発品の迅速且つ円滑な上市および各製品の価値最大化を通じ、収益基盤の更なる強化を目指す

- 後期開発品の迅速/円滑な上市、および各製品の価値最大化
- 次世代戦略品の研究開発推進と最適タイミングでの導出

【2014年3月期見込】

- 鳥居薬品増収、一時金・ロイヤリティ収入増により、増収・損失改善を見込む

(億円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年増減
売上収益	532	595	+63
調整後EBITDA ¹	-127	-105	+22



飲料事業



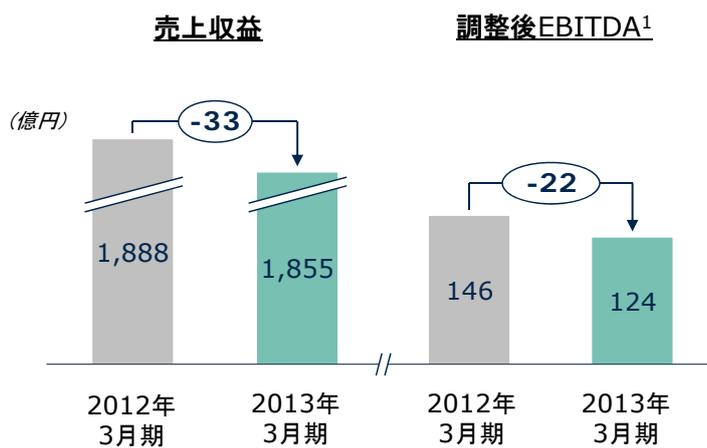
飲料事業(実績):
当社製品販売数量が過去最高を記録

売上収益

- 当社製品販売数量の増加があるも、自販機販路におけるカップ機等の売上収益減少の影響等を受ける

調整後EBITDA

- 減収影響に加え、販売チャネル構成の変化等



飲料事業(見込):

ルーツに次ぐブランドとして桃の天然水の育成、事業基盤の強化に注力

中長期目標と 役割

- 将来の成長に向けた事業基盤の強化により、グループへの更なる利益貢献を目指す

- 桃の天然水に対するブランド・エクイティ投資
- 質の高い自販機オペレーションの更なる強化

(億円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年増減
売上収益	1,855	1,870	+15
調整後EBITDA ¹	124	105	-19



[momo-ten]
桃の天然水

ひとの
ときを、
想う。 JT

23

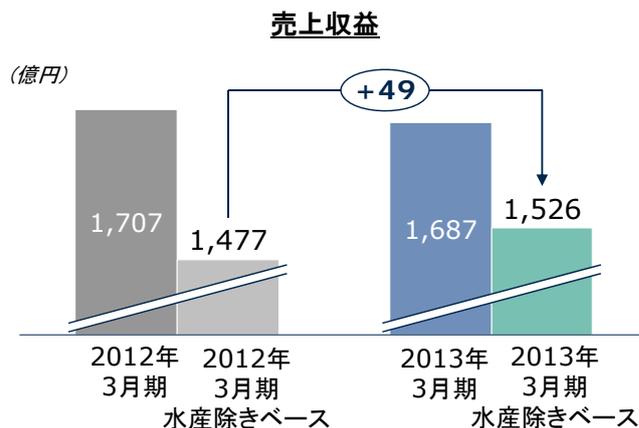
加工食品事業

ひとの
ときを、
想う。 JT

加工食品事業(実績):
 ステープレの伸長に伴うトップラインの着実な成長

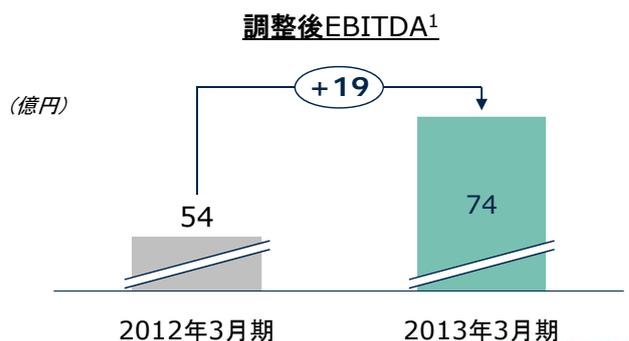
売上収益

- ステープルの力強い成長(対前年12.4%増)が牽引し、水産除きのトップラインは伸長



調整後EBITDA

- ステープルの伸長による収益力強化も着実に進展
- 原材料高騰影響はあるも、前年の費用計上の反動



加工食品事業(見込):
 ステープルを中心としたトップライン伸長により、利益率の着実な向上を図る

中長期目標と役割

- 少なくとも業界平均に比肩する営業利益率を実現し、グループへの利益貢献を目指す

- 自社の独自技術とお客様ニーズを組み合わせ、ステープルを中心とした商品力を強化
- 原材料高騰影響及び円安影響の極小化

(億円)	2013年3月期	2014年3月期	対前年増減
売上収益	1,687	1,590	-97
売上収益 (水産除き)	1,526	1,590	+64
調整後EBITDA ¹	74	95	+21



経営資源配分の考え方 株主還元方針



4Sモデルに基づき、中長期の経営資源配分を実行

- 中長期の持続的な利益成長につながる事業投資を最優先
- 加えて、グローバルFMCG業界における競争力ある株主還元を追求

事業投資・資本政策

- たばこ事業の成長投資を最重要視
- 医薬・飲料・加工食品事業は、将来の利益貢献につながる基盤強化に向けた投資に注力
- 事業環境の変化に機動的に対応し、事業投資を実施できる柔軟性を追求。一方で、新株発行に制約を受ける
- そのために、十分な資金調達余力の確保が必要。具体的には、
 - ✓ より強固な財務体質を確立
 - ✓ 金庫株は当面の間消却しない

株主還元の方針

- グローバルFMCG業界における競争力ある株主還元を追求
 - 配当性向は、グローバルFMCGプレイヤーに比肩する水準を目指す
 - 調整後EPS成長率は、年平均high single digit成長を目指す
 - ✓ 事業成長による向上を基本とする
が、目標達成を補完する手段として
自社株買いも検討

- 2013年3月期は、厳しい事業環境の中においても力強い実績を達成
 - ✓ 為替一定ベース調整後EBITDAは当初想定を上回る対前年+15.1%成長
- 加えて、株主還元も着実に強化
 - ✓ 配当性向は37.6%を達成
 - ✓ 好調な事業モメンタムを主因として調整後EPSは為替一定ベースで27.3%成長を達成
 - ✓ 政府株放出時、約2,500億円の自社株買いを実施
- 2014年3月期は、過去最高益を更新する見込み
 - ✓ 為替一定ベース調整後EBITDA6.1%成長
- 配当性向40%の実現を目指す

調整後EPS=[当期利益(親会社所有者帰属)±調整項目(収益及び費用)*
 ±(調整項目にかかる税金相当額及び非支配持分損益)]/(期中平均株式数+新株予約権による株式増加数)
 *調整項目(収益及び費用)=のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等



<注記>

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1 調整後EBITDA: | 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却+無形資産の償却費
+調整項目(収益及び費用)*

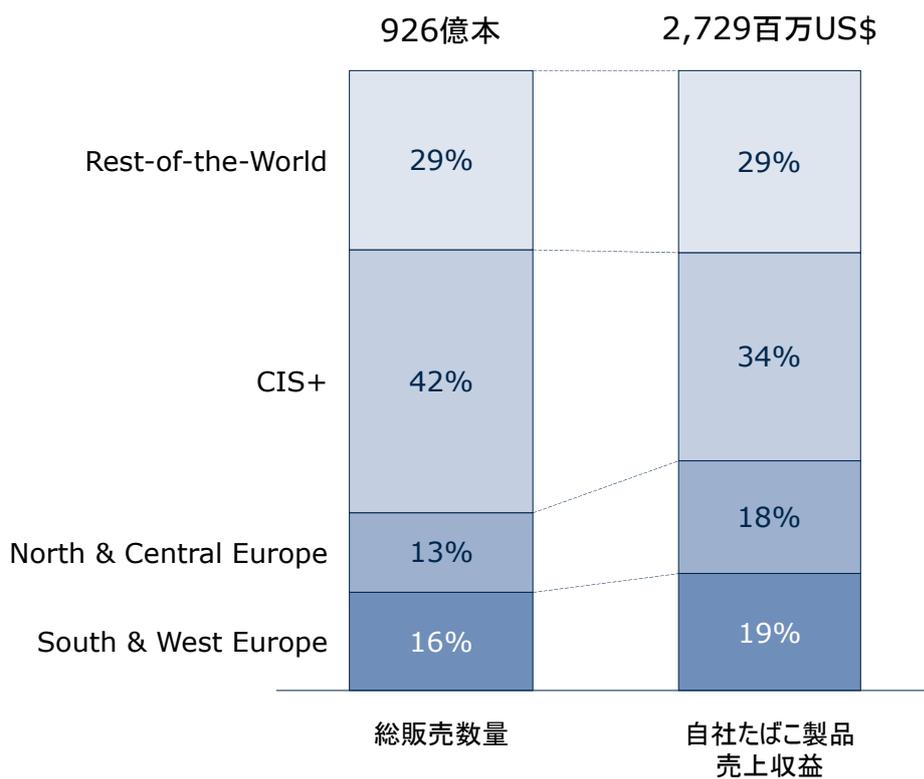
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等 |
| 2 当期利益: | 親会社の所有者に帰属する当期利益 |
| 3 販売数量:
(国内たばこ事業) | 国内免税販売及び中国事業部分を含まない |
| 4 自社たばこ製品売上収益:
(国内たばこ事業) | 輸入たばこ配送手数料収益等を控除 |
| 5 総販売数量:
(海外たばこ事業) | 水たばこ/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
(2013年3月期実績には水たばこは含まない) |
| 6 自社たばこ製品売上収益:
(海外たばこ事業) | 物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上込み
(2013年3月期実績には水たばこの売上は含まない) |
| 7 為替一定:
(海外たばこ事業) | 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、為替価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。 |



補足資料



<Back up data> 海外たばこ事業 4クラスター別構成比(1-3月期速報)



<Back up data> 海外たばこ事業
主要市場シェア(12ヶ月移動平均)

	<u>2012年</u> <u>3月</u>	<u>2013年</u> <u>3月</u>	増減
France	16.1%	18.2%	+2.1ppt
Spain	20.6%	20.7%	+0.1ppt
Italy	20.7%	21.5%	+0.8ppt
Russia	36.9%	36.5%	-0.4ppt
(GFB)	20.9%	22.2%	+1.3ppt
Taiwan	37.9%	39.3%	+1.4ppt
Turkey	24.7%	26.3%	+1.6ppt
UK	38.4%	39.8%	+1.4ppt

Source: Nielsen, Logista, Altadis



<Back up data> 海外たばこ事業
総販売数量成長率(対前年同期)

	<u>2013</u> <u>1-3月</u>
JTI	-6.4%
South & West Europe	-2.0%
Spain	1.7%
Italy	-15.7%
France	8.3%
North & Central Europe	-3.0%
UK	-8.2%
Ireland	4.0%
Austria	4.2%
Sweden	10.5%
Poland	-5.3%
CIS+	-5.6%
Russia	-4.3%
Ukraine	-17.2%
Kazakhstan	-5.9%
Romania	1.5%
Rest of the World	-11.0%
Turkey	3.0%
Taiwan	2.9%
Canada	-8.7%
Malaysia	-5.8%



<Back up data> 海外たばこ事業
GFB販売数量

(億本)	2012年 1-3月	2013年 1-3月	増減
GFB販売数量	611	584	-4.5%
Winston	313	296	-5.4%
Camel	96	91	-5.2%
Mild Seven/ MEVIUS*	45	44	-1.7%
B&H	26	23	-10.2%
Silk Cut	9	8	-10.6%
LD	98	98	0.2%
Sobranie	3	5	32.9%
Glamour	20	18	-11.5%



*シンガポール、韓国で名称変更済み

35



<Back up data> 海外たばこ事業
増税・値上げ情報

	増税	値上げ
Italy	11年9月 ⁱ⁾	11年7月、9月 12年3月
France	13年1月 ⁱⁱ⁾	11年10月 12年10月
Spain	12年4月、9月 ⁱⁱ⁾ 13年1月	11年6月-9月に 一時的に値下げ 12年4月、9月 13年1月
UK	11年1月 ⁱ⁾ 、3月 12年3月 13年3月	11年1月、3月、9月 12年3月、9月 13年3月
Russia	11年1月 12年1月、7月 13年1月	11年6月、12月 12年6月、12月
Turkey	11年10月 13年1月	11年10月 13年1月
Taiwan	11年9月 ⁱⁱ⁾	11年3月-4月 ⁱⁱⁱ⁾ 、9月 12年8月-9月 ⁱⁱⁱ⁾

i) VAT課税率の引上げ
ii) 税制の変更
iii) 各月一部銘柄

36



18

<Back up data> 海外たばこ事業
前提為替レート

	<u>2012年</u> 実績	<u>2013年</u> 見込	対前年
RUB/\$	31.07	31.00	0.2%高
GBP/\$	0.63	0.66	4.4%安
EUR/\$	0.78	0.80	2.7%安
CHF/\$	0.94	0.96	2.3%安
TWD/\$	29.57	29.71	0.5%安
円ドル	79.81	95.00	16.0%安

37



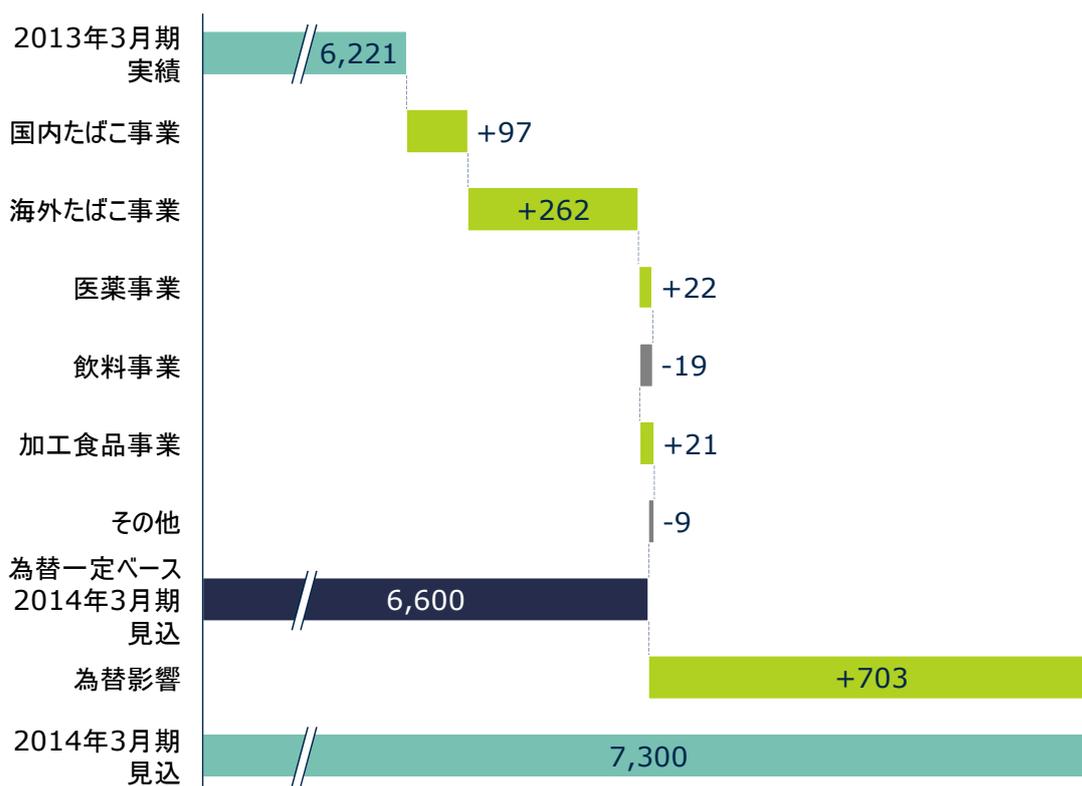
<Back up data> 海外たばこ事業
実績為替レート

	<u>2012年</u> 1-3月	<u>2013年</u> 1-3月	対前年
RUB/\$	30.15	30.40	0.8%安
GBP/\$	0.64	0.64	1.1%安
EUR/\$	0.76	0.76	0.8%高
CHF/\$	0.92	0.93	0.9%安
TWD/\$	29.71	29.47	0.8%高
円ドル	79.35	92.46	14.2%安

38



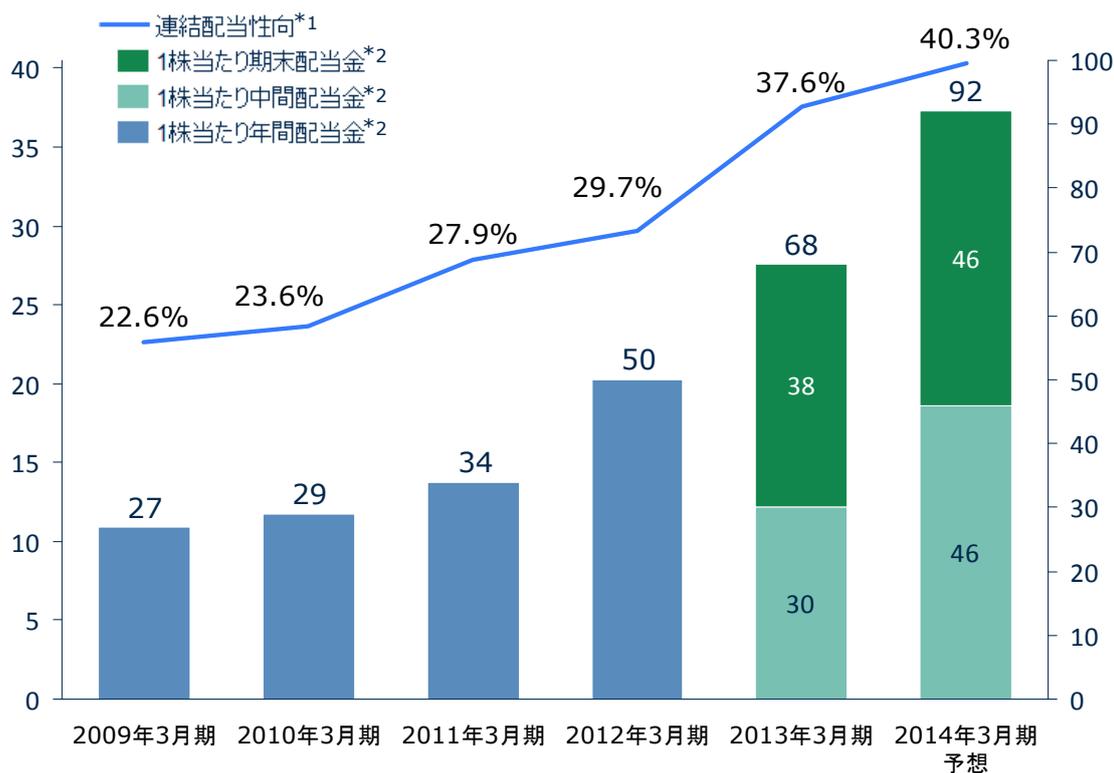
<Back up data> 全社見込 調整後EBITDA増減内訳



*億単位未満四捨五入等ノイズあり



<Back up data> 配当 配当金・連結配当性向の推移



*1 2011年3月期以前は日本基準ベースにおけるのれん償却影響を除く連結配当性向、2012年3月期以降はIFRSベースにおける連結配当性向
*2 2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っており、遡って当該株式分割が行われたと仮定して算定した数値



【参考資料】

2013年3月期実績 及び2014年3月期 業績予想における増減要因の分析

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各指標の注記は、slide21をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

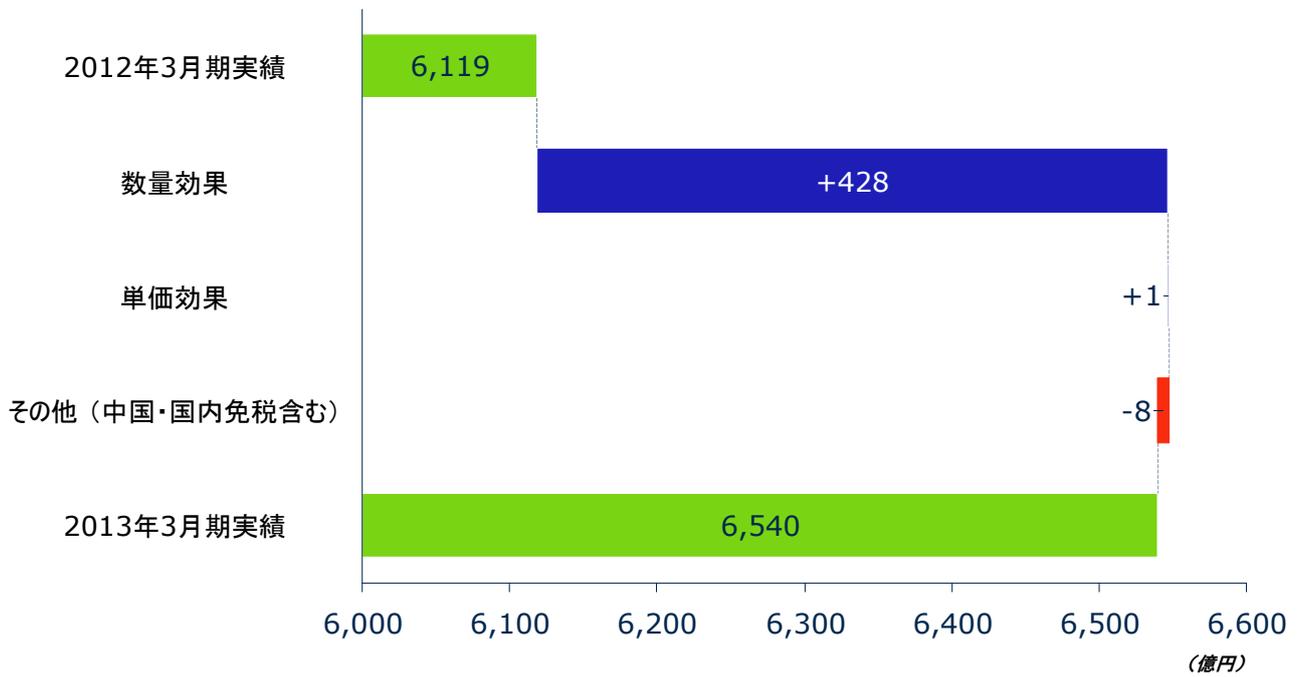
将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益¹

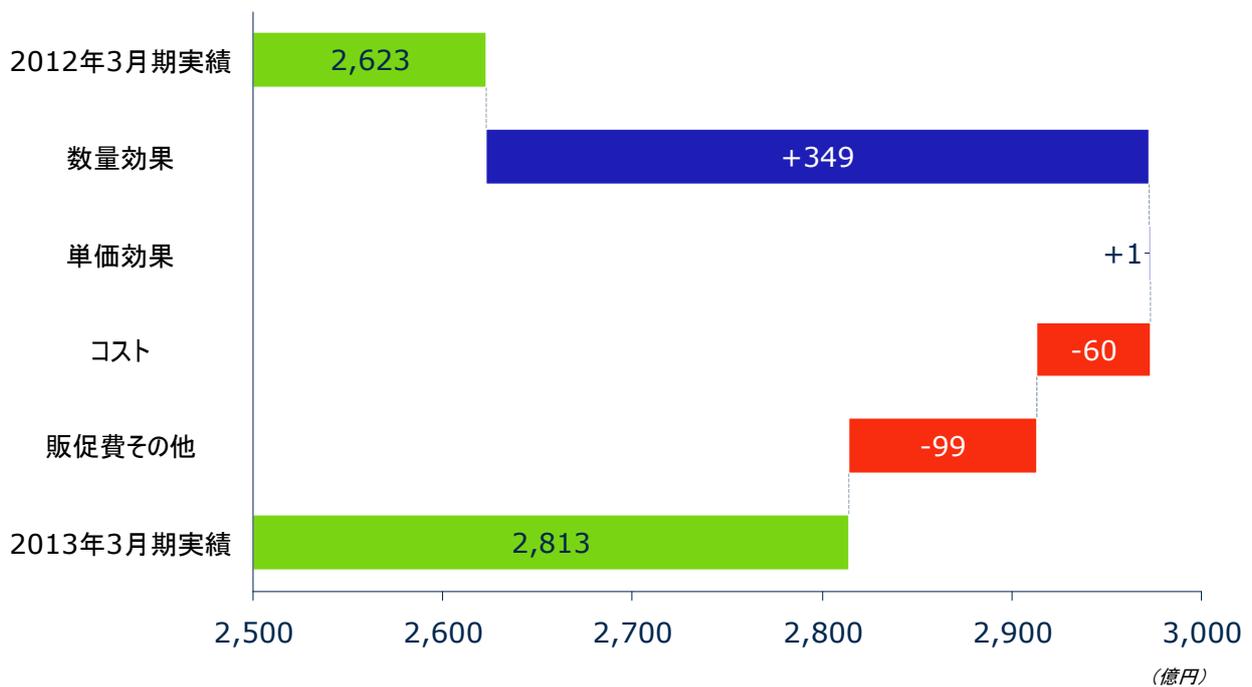


3

ひとの
ときを、
想う。 JT

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 国内たばこ事業 調整後EBITDA²

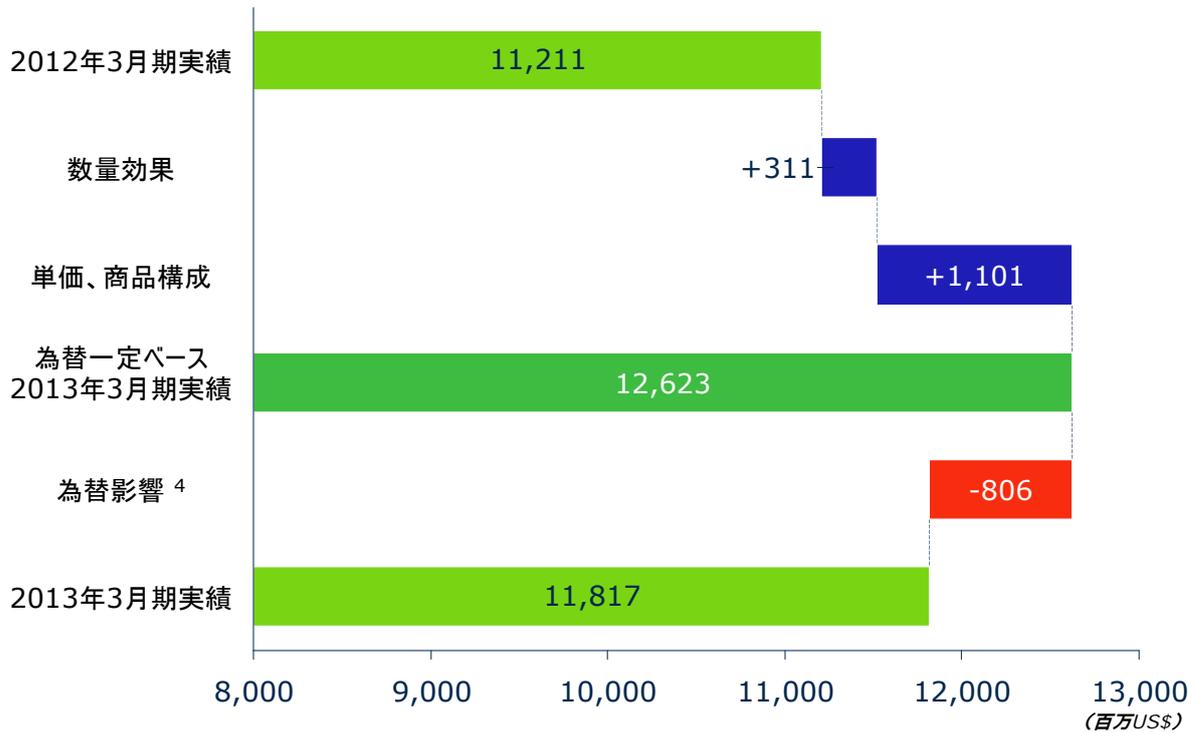


4

ひとの
ときを、
想う。 JT

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益³

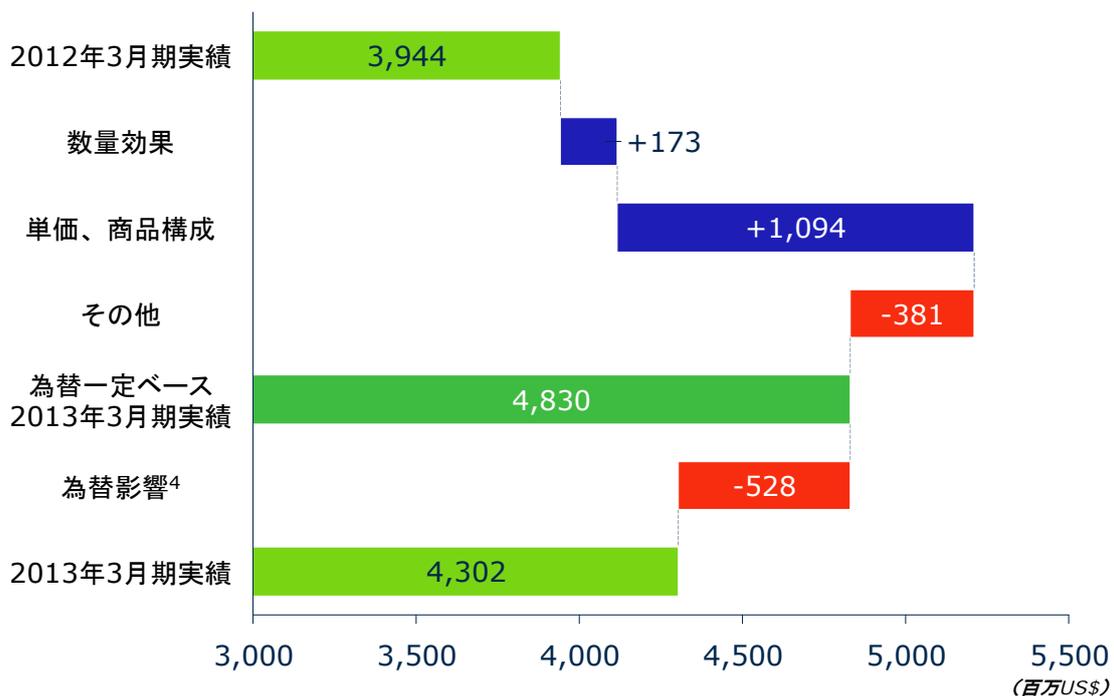


ひとの
ときを、
想う。 JT

5

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 海外たばこ事業 調整後EBITDA²

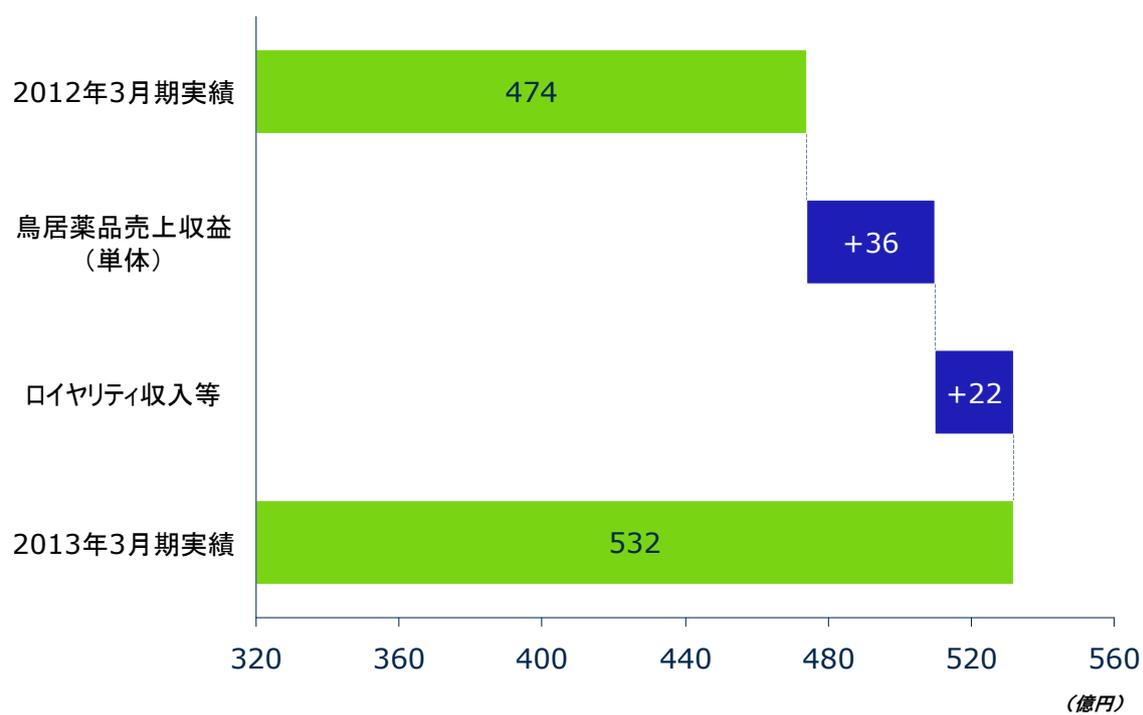


ひとの
ときを、
想う。 JT

6

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 医薬事業 売上収益



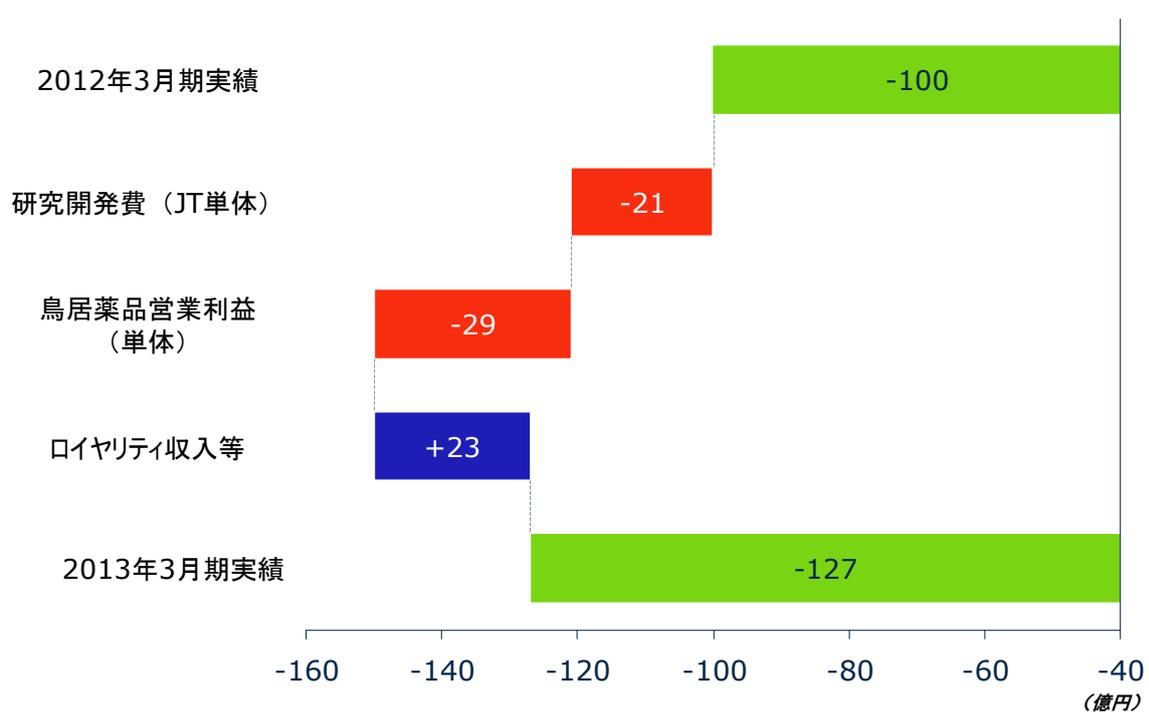
(億円)

ひとの
ときを、
想う。 JT

7

2013年3月期 実績(IFRS)

□ 医薬事業 調整後EBITDA²



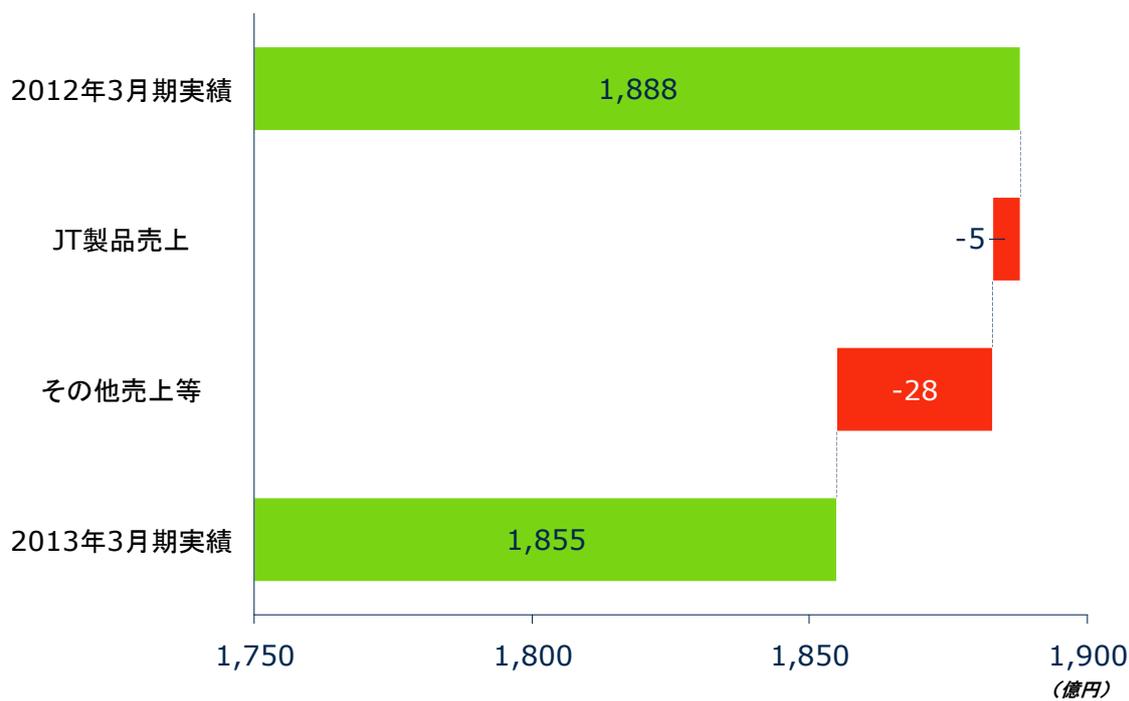
(億円)

ひとの
ときを、
想う。 JT

8

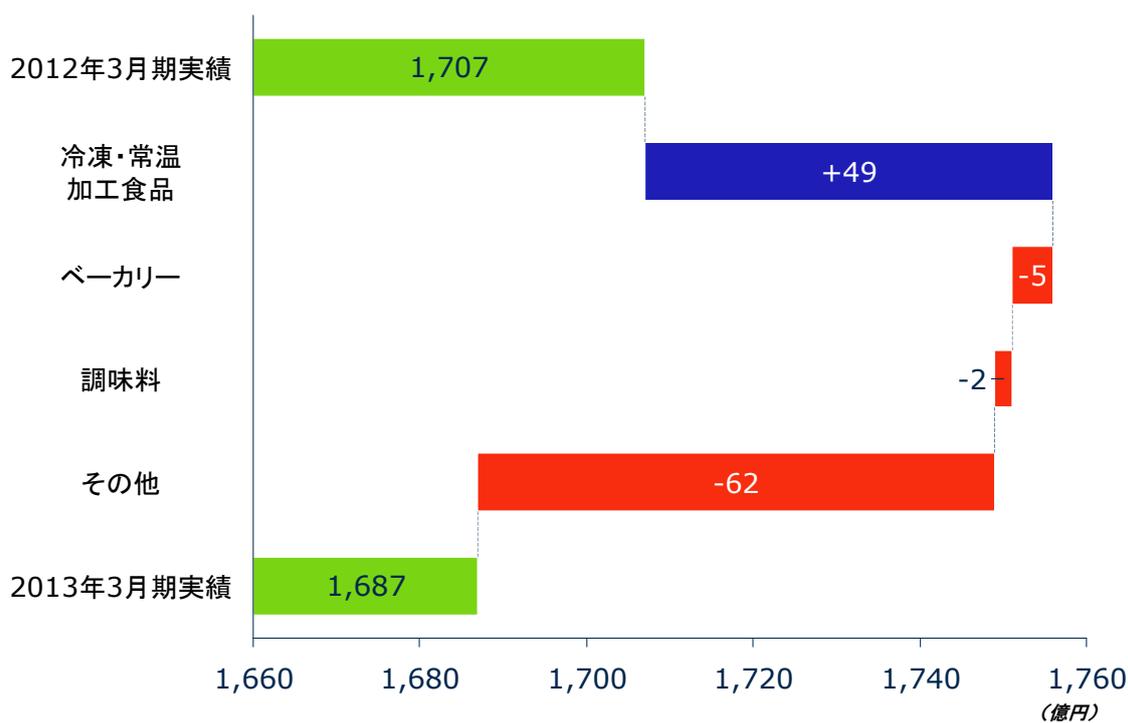
2013年3月期 実績(IFRS)

□ 飲料事業 売上収益



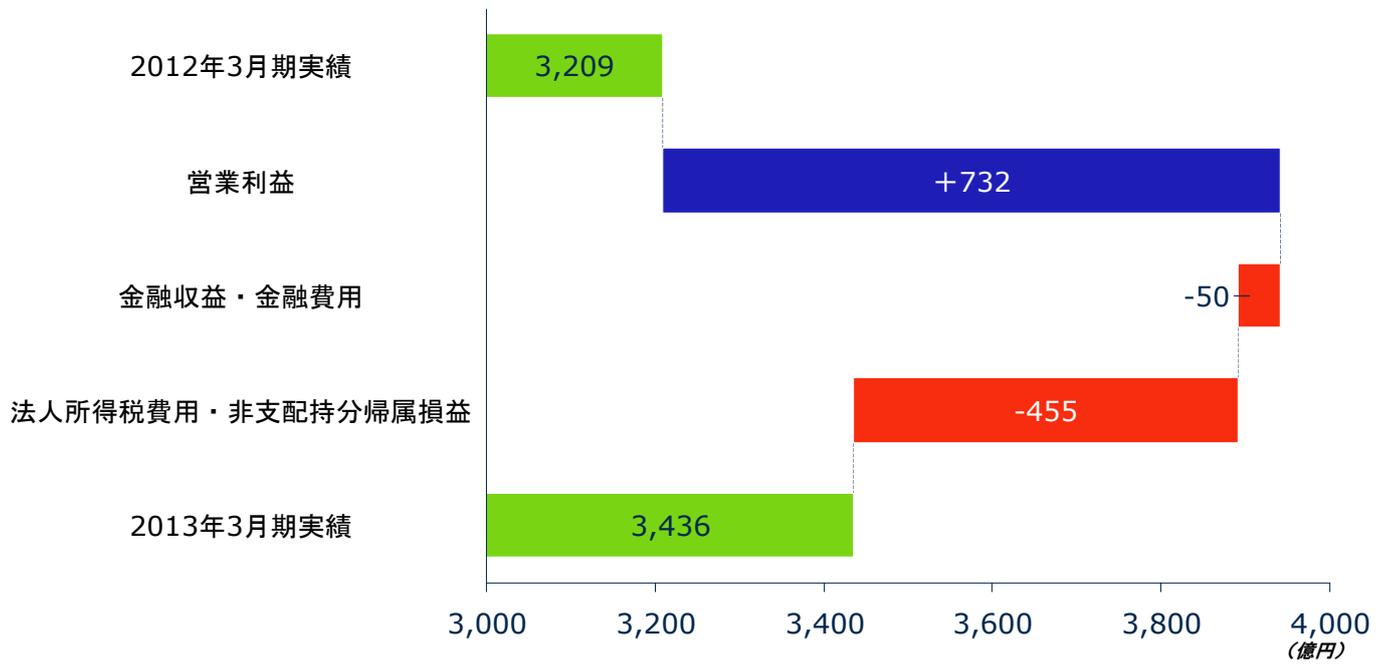
2013年3月期 実績(IFRS)

□ 加工食品事業 売上収益



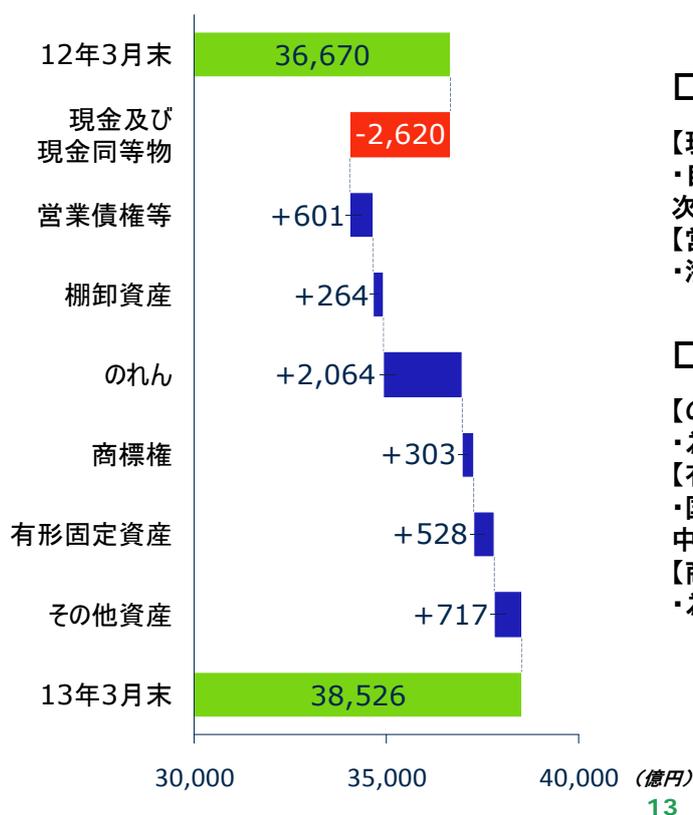
注)増減要因の「その他」に水産事業を含む

□ 親会社の所有者に帰属する当期利益



(このスライドは空白です)

□ 資産の部 2012年3月末・2013年3月末比較



□ 流動資産:-1,179億円

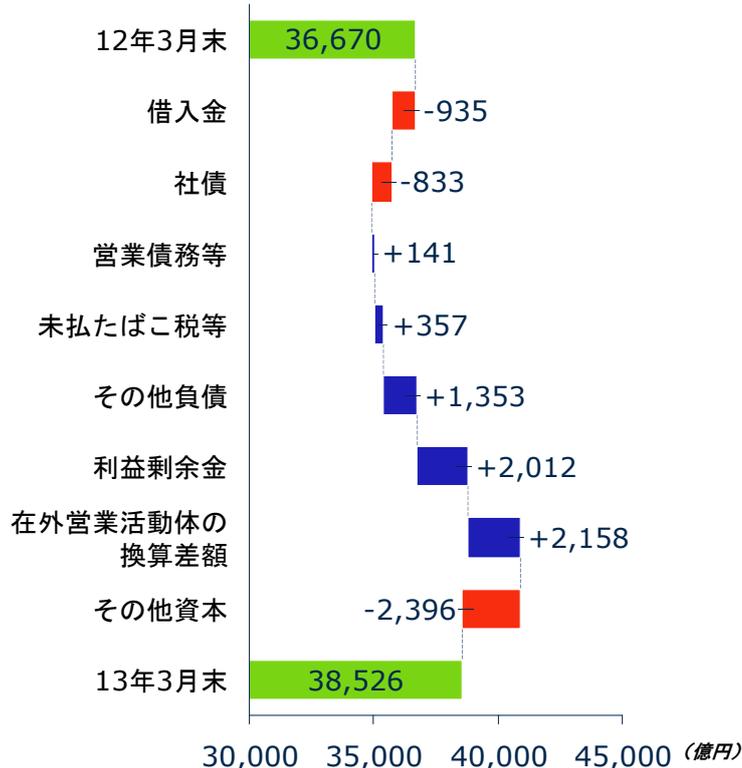
【現金及び現金同等物の減少】-2,620億円
 ・自己株式の取得、企業買収、国内たばこ事業における次世代原料加工工程を中心とした設備投資による減
 【営業債権等の増加】+601億円
 ・海外たばこ事業での業績好調による増等

□ 非流動資産:+3,035億円

【のれんの増加】+2,064億円
 ・為替影響および企業買収による増
 【有形固定資産の増加】+528億円
 ・国内たばこ事業における次世代原料加工工程を中心とした設備投資による増等
 【商標権の増加】+303億円
 ・為替影響および企業買収による増



□ 負債・資本の部 2012年3月末・2013年3月末比較



□ 負債合計:+82億円

【借入金の減少】-935億円
 ・借入返済による減
 【社債の減少】-833億円
 ・社債の償還による減
 【未払たばこ税等の増加】+357億円
 ・海外たばこ事業における販売数量増加等
 【その他負債】+1,353億円
 ・未払法人所得税等の増、海外たばこ事業における退職給付に係る負債の増

□ 資本:+1,774億円

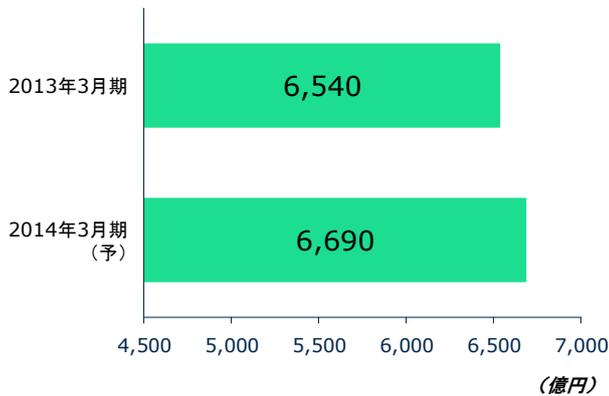
【利益剰余金の増加】+2,012億円
 ・配当金の支払いあるも、当期利益の計上による増
 【在外営業活動体の換算差額】+2,158億円
 ・為替影響による増
 【その他資本】-2,396億円
 ・自己株式の取得による減



2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益¹/調整後EBITDA²

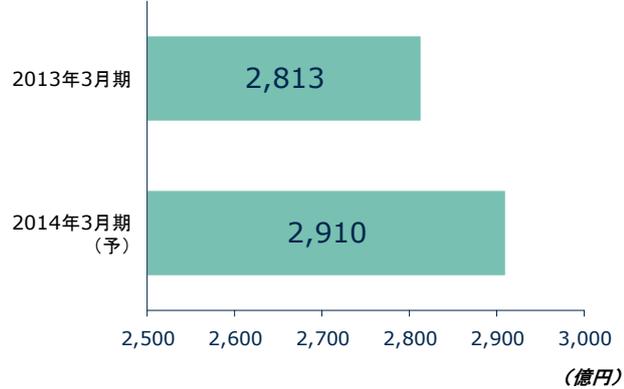
- 自社たばこ製品売上収益¹



【主な増加要因】

- シェア回復及び消費税増税に伴う仮需影響によるJT販売数量の増:
1,162億本⇒1,190億本

- 調整後EBITDA²



【主な増加要因】

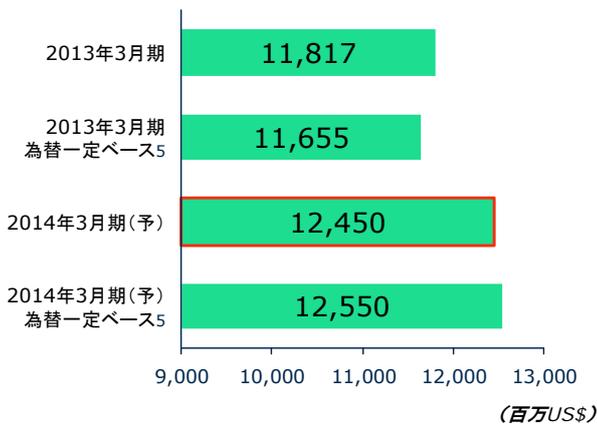
- シェア回復及び消費税増税に伴う仮需影響によるJT販売数量の増:
1,162億本⇒1,190億本



2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益³(\$ベース)/調整後EBITDA²(\$ベース)

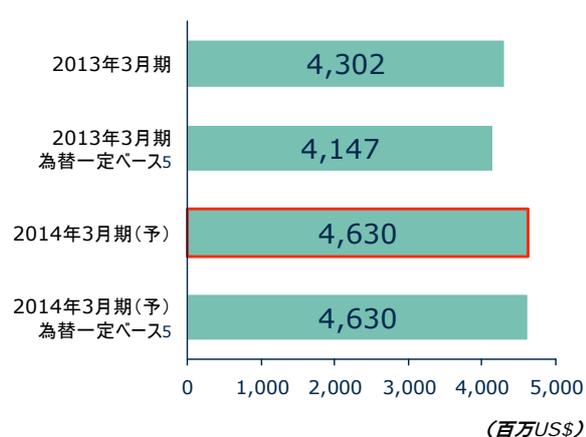
- 自社たばこ製品売上収益³



【主な増加要因】

- 単価効果およびGFB伸長

- 調整後EBITDA²



【主な増加要因】

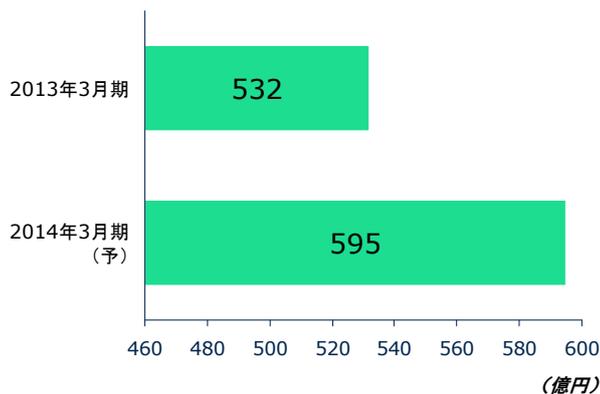
- 単価効果およびGFB伸長



2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 医薬事業 売上収益/調整後EBITDA²

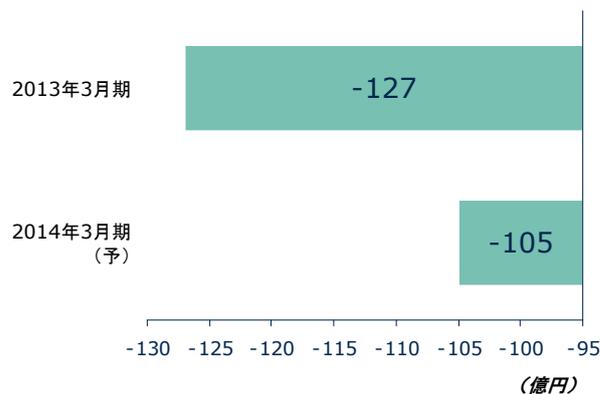
● 売上収益



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の増収
- JTでの一時金・ロイヤリティ収入の増

● 調整後EBITDA²



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の増収効果
- JTでの一時金・ロイヤリティ収入の増

【主な減少要因】

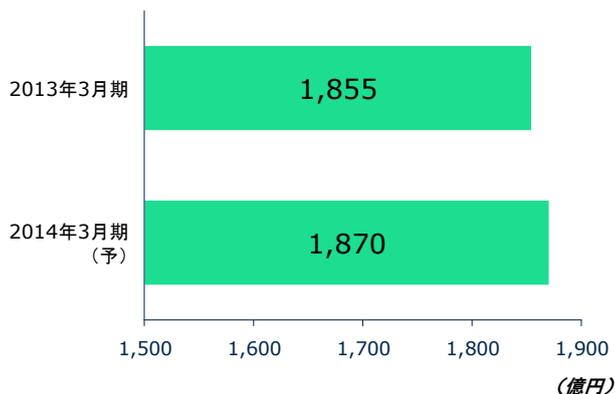
- 研究開発費の増加



2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 飲料事業 売上収益/調整後EBITDA²

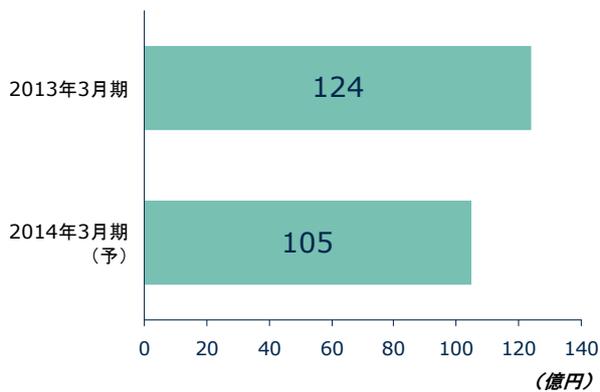
● 売上収益



【主な増加要因】

- 基幹ブランド「ルーツ」及び「桃の天然水」の伸長

● 調整後EBITDA²



【主な減少要因】

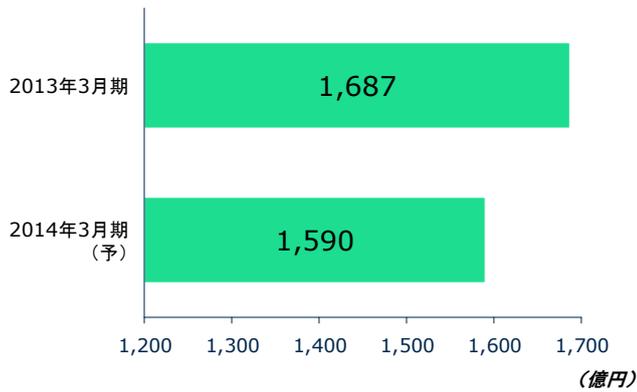
- 「桃の天然水」育成に向けた取り組み及び質の高い自販機オペレーションの更なる強化に向けた費用増加等



2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 加工食品事業 売上収益/調整後EBITDA²

● 売上収益



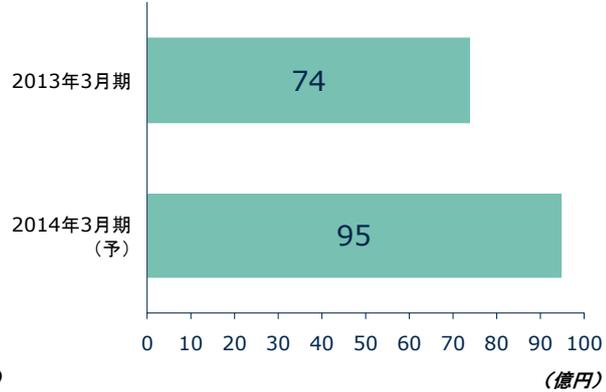
【主な増加要因】

- ステープル(主食)の伸長

【主な減少要因】

- 水産事業からの撤退による減収

● 調整後EBITDA²

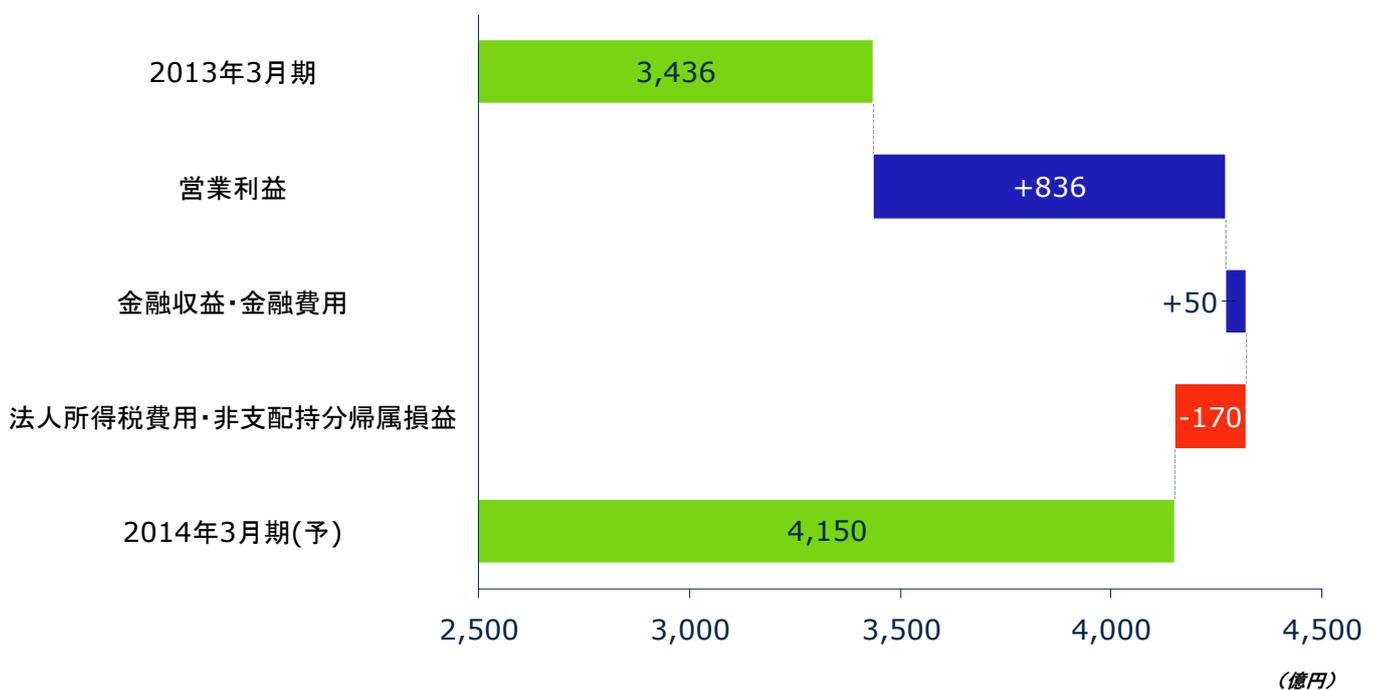


【主な増加要因】

- ステープルの増収効果及びコスト削減施策実施等

2014年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 親会社の所有者に帰属する当期利益



<注記>

- 1 自社たばこ製品売上収益： 輸入たばこ配送手数料に係る売上収益等を控除
(国内たばこ事業) :
- 2 調整後EBITDA： 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
- 3 自社たばこ製品売上収益： 物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上込み
(海外たばこ事業) (2013年3月期実績には水たばこの売上は含まない)
- 4 為替影響： USドルと各現地通貨との間の為替影響
- 5 為替一定： 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、為替価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

(このスライドは空白です)

2013年3月期 実績

1.業績ハイライト

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
売上収益	20,338	21,202	+864	+4.2%
営業利益	4,592	5,324	+732	+15.9%
税引前利益	4,414	5,096	+682	+15.5%
当期利益	3,286	3,515	+230	+7.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,209	3,436	+227	+7.1%
基本的1株当たり利益(円)	168.50	181.07	+12.57	+7.5%
希薄化後1株当たり利益(円)	168.44	180.99	+12.55	+7.4%
調整後EBITDA ^(注1)	5,771	6,221	+450	+7.8%
調整後当期利益	2,908	3,297	+389	+13.4%
調整後希薄化後1株当たり利益(円) ^(注2)	152.65	173.65	+21.00	+13.8%
1株当たり配当(円)	50.00	68.00	+18.00	+36.0%
連結配当性向	29.7%	37.6%	+7.9%pt	
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)	20.3%	20.0%	-0.3%pt	

(参考)

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
全社 為替一定ベース調整後EBITDA ^(注3)	5,771	6,642	+871	+15.1%
全社 為替一定ベース調整後希薄化後1株当たり利益(円) ^{(注2)(注3)}	152.65	194.30	+41.65	+27.3%

(注1): 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+調整項目(収益及び費用)*
 *調整項目(収益及び費用)=のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
 (注2): 調整後希薄化後1株当たり利益=(親会社所有者に帰属する当期利益+調整項目(収益及び費用))*調整項目にかかる税金相当額及び非支配持分損益/(期中平均株式数+新株予約券による株式増加数)
 *調整項目(収益及び費用)=のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
 (注3): 12年3月期は実績値、13年3月期は海外たばこ事業について12年3月期と同じ現地通貨及び円の為替レートを適用した場合の全社調整後EBITDA

2.売上収益の内訳

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
売上収益	20,338	21,202	+864	+4.2%
国内たばこ事業	6,462	6,871	+410	+6.3%
自社たばこ製品売上収益 ^(注1)	6,119	6,540	+421	+6.9%
海外たばこ事業	9,663	10,107	+444	+4.6%
自社たばこ製品売上収益 ^(注3)	8,946	9,431	+485	+5.4%
医薬事業	474	532	+58	+12.1%
飲料事業	1,888	1,855	-33	-1.7%
加工食品事業	1,707	1,687	-19	-1.1%
その他の売上収益	146	150	+5	+3.2%

(参考 ドルベース)

(単位: 百万ドル、%)

	11年12月期	12年12月期	増減	増減率
海外たばこ事業	11,211	11,817	+606	+5.4%
自社たばこ製品売上収益 ^(注3)				
海外たばこ事業 為替一定ベース				
自社たばこ製品売上収益 ^{(注3)(注4)}	11,211	12,623	+1,412	+12.6%

(注1): 国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除
 (注2): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績
 (注3): 海外たばこ事業の物流事業、製造委託等を控除した実績
 (注4): 11年12月期は実績値、12年12月期は11年12月期と同じ現地通貨の対ドルレートを適用した場合の海外たばこ事業自社たばこ製品売上収益

3.事業セグメント別調整後EBITDA^(注1)

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
全社 営業利益	4,592	5,324	+732	+15.9%
調整合計 ^(注3)	1,180	898	-282	-23.9%
全社 調整後EBITDA ^(注1)	5,771	6,221	+450	+7.8%
国内たばこ 営業利益	2,093	2,413	+320	+15.3%
調整合計 ^(注3)	530	400	-130	-24.5%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注1)	2,623	2,813	+191	+7.3%
海外たばこ 営業利益 ^(注2)	2,524	2,895	+372	+14.7%
調整合計 ^{(注2)(注3)}	624	538	-86	-13.8%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	3,148	3,433	+285	+9.1%
医薬 営業利益	-135	-162	-27	-
調整合計 ^(注3)	35	34	-1	-0.7%
医薬 調整後EBITDA ^(注1)	-100	-127	-27	-
飲料 営業利益	45	24	-21	-47.5%
調整合計 ^(注3)	101	101	0	-0.2%
飲料 調整後EBITDA ^(注1)	146	124	-22	-14.8%
加工食品 営業利益	-25	-58	-34	-
調整合計 ^(注3)	79	132	+53	+67.5%
加工食品 調整後EBITDA ^(注1)	54	74	+19	+35.8%
その他/消去 営業利益	90	212	+122	+134.5%
調整合計 ^(注3)	-189	-307	-118	-
その他/消去 調整後EBITDA ^(注1)	-98	-96	+3	-

(参考 ドルベース)

(単位: 百万ドル、%)

	11年12月期	12年12月期	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA ^(注1)	3,944	4,302	+357	+9.1%
海外たばこ事業 為替一定ベース調整後EBITDA ^{(注1)(注4)}	3,944	4,830	+886	+22.5%

(注1): 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+調整項目(収益及び費用)*
 *調整項目(収益及び費用)=のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
 (注2): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績
 (注3): 減価償却費及び償却費、調整項目(収益及び費用)
 (注4): 11年12月期は実績値、12年12月期は11年12月期と同じ現地通貨の対ドルレートを適用した場合の海外たばこ事業調整後EBITDA

4.連結財政状態データ

(単位: 億円)

	12年3月末	13年3月末	増減
資産合計	36,670	38,526	+1,856
資本合計	17,146	18,920	+1,774
親会社の所有者に帰属する持分	16,341	18,061	+1,721
1株あたり親会社所有者帰属持分(円) ^(注)	858.09	993.75	+135.66

(注): 2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しているため、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した数値

5.手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	12年3月末	13年3月末	増減
手元流動性	4,312	1,683	-2,630

(注): 手元流動性=現金+短期保有の有価証券+預金

6.有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	12年3月末	13年3月末	増減
有利子負債	5,024	3,272	-1,751

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務+コマーシャルペーパー

7.連結キャッシュ・フローデータ

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
営業キャッシュ・フロー	5,516	4,666	-850	-15.4%
投資キャッシュ・フロー	-1,038	-1,479	-441	-
財務キャッシュ・フロー	-2,791	-5,695	-2,904	-
現金及び現金同等物の期首残高	2,442	4,047	+1,605	+65.7%
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-82	-112	-30	-
現金及び現金同等物の期末残高 ^(注1)	4,047	1,427	-2,620	-64.7%
FCF ^(注2)	4,513	3,160	-1,353	-30.0%

(注1): 当年度末の「現金及び現金同等物」には、当社グループのイラン子会社であるJTI Pars PJS Co.が保有する現金及び現金同等物149億円(5兆5,610億伊朗リアル)が含まれており、イランに対する国際的な制裁等のため、同社によるイラン国外への資金の送金は困難な状況となっております。

(注2): FCF=営業活動キャッシュ・フロー+投資活動キャッシュ・フロー-ただし以下の項目を除く
 営業活動キャッシュ・フローから利息及び配当金の受取額とその税引額/利息の支払額とその税引額
 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

8.資本的支出

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
資本的支出	1,190	1,374	+185	+15.5%
国内たばこ事業	562	712	+150	+26.7%
海外たばこ事業 ^(注)	391	375	-16	-4.2%
医薬事業	39	58	+19	+47.8%
飲料事業	81	120	+39	+48.5%
加工食品事業	73	46	-27	-37.1%
その他/全社・消去	43	63	+20	+46.3%

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

9.主な事業関連数値

(国内たばこ事業)	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
JT販売数量 ^(注)	1,084	1,162	+78	+7.2%
国内総需要	1,975	1,951	-24	-1.2%
JT販売数量シェア	54.9%	59.6%	+4.7%pt	
JT千本当売上収益	5,502	5,502	+0	+0.0%

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2012年3月期37億本、2013年3月期31億本。

(海外たばこ事業)	11年12月期	12年12月期	増減	増減率
総販売数量 ^(注)	4,257	4,365	+108	+2.5%
GFB販売数量	2,565	2,688	+123	+4.8%
円/USドルレート	79.80	79.81	+0.01	0.0%安
RUB/USドルレート	29.40	31.07	+1.67	5.4%安
GBP/USドルレート	0.63	0.63	+0.01	0.9%安
EUR/USドルレート	0.72	0.78	+0.06	7.1%安
CHF/USドルレート	0.89	0.94	+0.05	4.9%安
TWD/USドルレート	29.44	29.57	+0.55	0.5%安

(注): 委託製造を除き、Fine cut Cigar/Pipe/Snus込み

(医薬事業)	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
研究開発費	249	307	+58	+23.2%

(飲料事業)	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
JT製品販売数量	3,191	3,225	+34	+1.1%
うちRoots販売数量	1,932	1,854	-78	-4.0%

	12年3月末	13年3月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	265,000	262,000	-3,000
うちマーキング機	35,000	39,000	+4,000
うちコンビニ機	84,000	83,000	-1,000
その他	146,000	140,000	-6,000

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・プッシュ等)及びかつ機を含む。「マーキング機」は当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ機」は関係会社所有で他社の製品も取り扱っている、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10.従業員数^(注)

(単位: 人)

	12年3月期	13年3月期	増減
従業員数(連結)	48,529	49,507	+978
国内たばこ事業	11,092	11,043	-49
海外たばこ事業	24,237	24,397	+160
医薬事業	1,693	1,744	+51
飲料事業		4,912	-
加工食品事業	10,646	6,563	-
その他事業/全社共通業務	861	848	-13
従業員数(単体)	8,936	8,925	-11

(注): 従業員数は就業人員ベース

2013年3月期 実績

11.P/L 内訳表

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
売上収益	20,338	21,202	+864	+4.2%
国内たばこ事業	6,462	6,871	+410	+6.3%
自社たばこ製品売上収益 ^(注2)	6,119	6,540	+421	+6.9%
海外たばこ事業 ^(注1)	9,663	10,107	+444	+4.6%
自社たばこ製品売上収益 ^{(注1)(注3)}	8,946	9,431	+485	+5.4%
医薬事業	474	532	+58	+12.1%
飲料事業	1,888	1,855	-33	-1.7%
加工食品事業	1,707	1,687	-19	-1.1%
その他の売上収益	146	150	+5	+3.2%
売上原価	8,920	8,994	+74	+0.8%
売上総利益	11,418	12,208	+790	+6.9%
その他の営業収益	485	422	-63	-13.1%
固定資産及び投資不動産の売却益	301	352	+51	+16.8%
その他	184	70	-114	-62.1%
持分法による投資利益	20	28	+7	+35.6%
販売費及び一般管理費等	7,332	7,334	+2	+0.0%
広告宣伝費	215	206	-10	-4.5%
販売促進費	1,280	1,375	+95	+7.4%
運賃保管費	279	271	-8	-3.0%
委託手数料	410	412	+2	+0.5%
従業員給付費用	2,351	2,414	+64	+2.7%
研究開発費	515	569	+54	+10.5%
減価償却費及び償却費	585	591	+5	+0.9%
減損損失	70	32	-38	-54.2%
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	115	93	-22	-19.1%
葉たばこ農家に対する廃作協力金	125	0	-125	-100.0%
その他	1,387	1,372	-15	-1.1%
営業利益	4,592	5,324	+732	+15.9%
減価償却費及び償却費	1,188	1,165	-24	-2.0%
調整項目(収益)	-299	-342	-43	-
調整項目(費用)	290	75	-215	-74.0%
全社 調整後EBITDA ^(注4)	5,771	6,221	+450	+7.8%
国内たばこ 営業利益	2,093	2,413	+320	+15.3%
減価償却費及び償却費	396	411	+15	+3.8%
調整項目(収益)	-	-12	-12	-
調整項目(費用)	134	2	-133	-98.9%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注4)	2,623	2,813	+191	+7.3%
海外たばこ 営業利益 ^(注1)	2,524	2,895	+372	+14.7%
減価償却費及び償却費 ^(注1)	552	511	-41	-7.5%
調整項目(収益) ^(注1)	-6	-4	+2	-
調整項目(費用) ^(注1)	77	31	-47	-60.5%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注4)}	3,148	3,433	+285	+9.1%
医薬 営業利益	-135	-162	-27	-
減価償却費及び償却費	35	34	-1	-0.7%
調整項目(収益)	-	-	-	-
調整項目(費用)	-	-	-	-
医薬 調整後EBITDA ^(注4)	-100	-127	-27	-
飲料 営業利益	45	24	-21	-47.5%
減価償却費及び償却費	101	101	-	-0.2%
調整項目(収益)	-	-	-	-
調整項目(費用)	-	-	-	-
飲料 調整後EBITDA ^(注4)	146	124	-22	-14.8%
加工食品 営業利益	-25	-58	-34	-
減価償却費及び償却費	74	71	-3	-4.0%
調整項目(収益)	-	-	-	-
調整項目(費用)	4	60	+56	+1291.7%
加工食品 調整後EBITDA ^(注4)	54	74	+19	+35.8%
その他/消去 営業利益	90	212	+121	+134.5%
減価償却費及び償却費	31	36	+6	+18.9%
調整項目(収益)	-294	-326	-33	-
調整項目(費用)	74	-17	-92	-
その他/消去 調整後EBITDA ^(注4)	-98	-96	+3	-

(単位: 億円、%)

	12年3月期	13年3月期	増減	増減率
金融収益	56	55	-1	-2.0%
配当収入	13	14	+1	+6.6%
利息収入	24	38	+14	+59.4%
為替差益	-	-	-	-
その他	20	4	-16	-81.8%
金融費用	234	283	+49	+20.8%
利息費用	144	101	-42	-29.5%
退職給付費用	55	57	+2	+3.6%
為替差損	27	113	+85	+312.1%
その他	8	12	+4	+45.7%
税引前当期利益	4,414	5,096	+682	+15.5%
法人所得税費用	1,128	1,580	+452	+40.1%
当期利益	3,286	3,515	+230	+7.0%
親会社の所有者	3,209	3,436	+227	+7.1%
非支配持分	77	79	+2	+3.0%

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収入等を控除

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績

(注4): 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラチャージング収益及び費用等

12.B/S 内訳表

(単位:億円)

	12年3月末	13年3月末	増減
流動資産	13,310	12,131	-1,179
現金及び現金同等物	4,047	1,427	-2,620
現金及び預金	1,088	1,218	+130
短期投資	2,959	210	-2,750
営業債権及びその他の債権	3,278	3,878	+601
受取手形及び売掛金	3,118	3,680	+561
その他	177	215	+38
貸倒引当金	-17	-16	+1
棚卸資産	4,466	4,730	+264
商品及び製品	1,125	1,331	+207
葉たばこ	2,948	2,920	-28
その他	393	479	+85
その他の金融資産※3	274	291	+17
その他の流動資産	1,232	1,779	+547
前払たばこ税	873	1,303	+431
前払費用	107	95	-12
未収消費税等	67	106	+39
その他	185	274	+89
売却目的で保有する非流動資産	14	26	+12
非流動資産	23,360	26,395	+3,035
有形固定資産	6,195	6,723	+528
取得原価	14,510	15,357	+847
減価償却累計額及び減損損失累計額	-8,314	-8,634	-320
土地、建物及び構築物	2,934	3,073	+139
取得原価	5,940	6,157	+217
減価償却累計額及び減損損失累計額	-3,005	-3,083	-78
機械装置及び運搬具	2,392	2,712	+320
取得原価	6,706	7,202	+495
減価償却累計額及び減損損失累計額	-4,314	-4,490	-175
工具、器具及び備品	558	653	+95
取得原価	1,552	1,714	+161
減価償却累計額及び減損損失累計額	-995	-1,061	-66
建設仮勘定	311	285	-26
取得原価	311	285	-26
減価償却累計額及び減損損失累計額	-	-	-
のれん※1	11,100	13,165	+2,064
取得原価	11,100	13,165	+2,064
償却累計額及び減損損失累計額	-	-	-
無形資産	3,064	3,488	+424
取得原価	8,480	9,331	+851
償却累計額及び減損損失累計額	-5,415	-5,842	-427
商標権※2	2,573	2,876	+303
取得原価	6,639	7,337	+699
償却累計額及び減損損失累計額	-4,065	-4,461	-396
ソフトウェア	178	319	+141
取得原価	973	1,116	+143
償却累計額及び減損損失累計額	-796	-798	-2
その他	313	293	-20
取得原価	868	877	+9
償却累計額及び減損損失累計額	-555	-583	-29
投資不動産	674	590	-84
退職給付に係る資産	144	148	+5
持分法で会計処理されている投資	184	229	+45
その他の金融資産※3	675	718	+42
繰延税金資産	1,322	1,333	+12
資産合計	36,670	38,526	+1,856

※3 その他の金融資産(流動・非流動の計)	949	1,009	+60
デリバティブ資産	19	41	+21
株式	391	467	+76
債券	88	157	+68
定期預金	243	53	-190
その他	349	382	+33
貸倒引当金	-141	-91	+50

※1 のれん 海外たばこ資金生成単位	10,675	12,740	+2,064
のれん 加工食品資金生成単位	254	254	-

※2 商標権 海外たばこ事業	2,545	2,849	+303
----------------	-------	-------	------

(単位:億円)

	12年3月末	13年3月末	増減
流動負債	11,575	11,130	-445
営業債務及びその他の債務	2,987	3,127	+141
支払手形及び買掛金	1,654	1,735	+80
未払金	717	713	-4
その他	615	680	+65
社債及び借入金※4	2,118	443	-1,675
未払法人所得税等	425	857	+432
その他の金融負債※4	80	86	+5
引当金	57	53	-4
その他の流動負債※5	5,907	6,563	+656
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	1	1	-
非流動負債	7,949	8,477	+528
社債及び借入金※4	2,797	2,704	-94
その他の金融負債※4	210	188	-21
退職給付に係る負債	3,150	3,431	+281
引当金	44	48	+3
その他の非流動負債※5	922	1,132	+210
繰延税 -	825	973	+148
負債合計	19,524	19,606	+82
資本	17,146	18,920	+1,774
資本金	1,000	1,000	-
資本剰余金	7,364	7,364	+0
自己株式	-946	-3,446	-2,500
その他の資本の構成要素	-3,764	-1,555	+2,209
利益剰余金	12,686	14,697	+2,012
非支配持分	806	859	+53
負債及び資本合計	36,670	38,526	+1,856

※4 社債及び借入金(その他の金融負債含む)(流動・非流動の計)	5,205	3,421	-1,785
デリバティブ負債	51	38	-13
短期借入金	435	238	-196
コマーシャル・ペーパー	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	782	205	-578
1年内償還予定の社債	901	-	-901
長期借入金	493	332	-161
社債	2,305	2,372	+68
その他	239	236	-3

※5 その他の負債(流動・非流動の計)	6,830	7,695	+866
未払たばこ税	2,405	2,858	+452
未払たばこ税特別税	151	145	-6
未払地方たばこ税	1,914	1,824	-90
未払消費税等	832	854	+22
従業員賞与	397	455	+57
従業員有給休暇債務	186	198	+13
その他	945	1,363	+417

2014年3月期
業績予想

1. 業績ハイライト

(単位: 億円, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
売上収益	21,202	23,680	+2,478	+11.7%
営業利益	5,324	6,160	+836	+15.7%
税引前利益	5,096	5,980	+884	+17.4%
当期利益	3,515	4,230	+715	+20.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,436	4,150	+714	+20.8%
基本的1株当たり利益(円) ^(注1)	181.07	228.34	+47.26	+26.1%
調整後EBITDA ^(注2)	6,221	7,300	+1,079	+17.3%
1株当たり配当金(円)	68.00	92.00	+24.00	+35.3%
連結配当性向 ^(注3)	37.6%	40.3%	+2.7%pt	
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE) ^(注4)	20.0%	20.4%	+0.4%pt	

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後EBITDA ^(注5)	6,221	6,600	+379	+6.1%

(注1): 親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(注2): 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注3): 連結配当性向=1株当たり配当金/基本的1株当たり利益

(注4): 親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)=親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

(注5): 13年3月期は実績値、14年3月期予想は海外たばこ事業について13年3月期と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを適用した場合の全社調整後EBITDA

2. 売上収益の内訳

(単位: 億円, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
売上収益	21,202	23,680	+2,478	+11.7%
国内たばこ事業	6,871	7,030	+159	+2.3%
自社たばこ製品売上収益 ^(注1)	6,540	6,690	+150	+2.3%
海外たばこ事業 ^(注2)	10,107	12,440	+2,333	+23.1%
自社たばこ製品売上収益 ^(注3)	9,431	11,820	+2,389	+25.3%
医薬事業	532	595	+63	+11.9%
飲料事業	1,855	1,870	+15	+0.8%
加工食品事業	1,687	1,590	-97	-5.8%
その他の売上収益	150	140	-10	-6.8%

(参考 ドルベース)

(単位: 百万ドル, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業				
自社たばこ製品売上収益 ^{(注2)(注3)}	11,817	12,450	+633	+5.4%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益 ^{(注2)(注3)(注4)}	11,655	12,550	+895	+7.7%

(注1): 国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

(注2): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含む

(注4): 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、為替価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

3. 事業セグメント別営業利益及び調整後EBITDA^(注1)

(単位: 億円, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
全社 営業利益	5,324	6,160	+836	+15.7%
国内たばこ 営業利益	2,413	2,460	+47	+2.0%
海外たばこ 営業利益 ^(注2)	2,895	3,750	+855	+29.5%
医薬 営業利益	-162	-140	+22	-
飲料 営業利益	24	5	-19	-78.8%
加工食品 営業利益	-58	20	+78	-
その他/消去 営業利益	212	60	-152	-71.6%
全社 調整後EBITDA ^(注1)	6,221	7,300	+1,079	+17.3%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注1)	2,813	2,910	+97	+3.4%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	3,433	4,400	+967	+28.2%
医薬 調整後EBITDA ^(注1)	-127	-105	+22	-
飲料 調整後EBITDA ^(注1)	124	105	-19	-15.5%
加工食品 調整後EBITDA ^(注1)	74	95	+21	+29.1%
その他/消去 調整後EBITDA ^(注1)	-96	-105	-9	-

(参考 ドルベース)

(単位: 百万ドル, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	4,302	4,630	+328	+7.6%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)(注3)}	4,147	4,630	+483	+11.6%

(注1): 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注2): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注3): 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、為替価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

4. 連結キャッシュ・フローデータ

(単位: 億円, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
FCF(億円) ^(注)	3,160	2,800	-360	-11.4%

(注): FCF=営業活動キャッシュフロー+投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除く
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

5. 資本的支出

(単位: 億円, %)

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
資本的支出	1,374	1,950	+576	+41.9%
国内たばこ事業	712	630	-82	-11.6%
海外たばこ事業 ^(注)	375	940	+565	+150.6%
医薬事業	58	40	-18	-30.6%
飲料事業	120	120	-0	-0.2%
加工食品事業	46	80	+34	+74.1%
その他/全社・消去	63	140	+77	+121.5%

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

6. 業績予想の主な前提条件

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
国内たばこ事業				
JT販売数量 ^(注)	1,162	1,190	+28	+2.4%

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

	13年3月期 実績	14年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 ^(注1)				
総販売数量 ^(注2)	4,365	4,320	-45	-1.0%
GFB販売数量	2,688	2,730	+42	+1.6%
円/USドルレート	79.81	95.00	+15.19	16.0%安
RUB/USドルレート	31.07	31.00	-0.07	0.2%高
GBP/USドルレート	0.63	0.66	+0.03	4.4%安
EUR/USドルレート	0.78	0.80	+0.02	2.7%安
CHF/USドルレート	0.94	0.96	+0.02	2.3%安
TWD/USドルレート	29.57	29.71	+0.14	0.5%安

(注1): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注2): 水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	360	506	203	278	1,346
2011年度	184	325	300	275	1,084
2012年度	294	302	298	268	1,162

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	5,355	7,531	4,134	5,670	22,690
2011年度	3,736	6,625	6,100	5,603	22,065
2012年度	5,967	6,129	6,052	5,442	23,589

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売抜上高/千本当売上収益

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582
2011年度	5,444	5,516	5,509	5,515	5,502
2012年度	5,508	5,505	5,499	5,498	5,503

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売抜上高/千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税)} / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1
2011年度	40.8	59.3	58.7	59.2	54.9
2012年度	59.4	59.7	59.6	59.5	59.6

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4
2011年度	9.8	14.1	14.1	14.3	13.2
2012年度	14.4	14.2	14.3	14.4	14.3

②1mg市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2
2011年度	24.7	23.9	24.1	24.4	24.3
2012年度	24.5	24.2	24.4	24.5	24.4

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7
2011年度	39.6	58.8	58.5	58.7	54.2
2012年度	58.8	58.7	58.6	58.8	58.7

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3
2011年度	3.2	6.3	6.6	6.9	5.8
2012年度	7.5	7.6	7.4	7.7	7.6

②メンソール市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3
2011年度	26.1	24.2	25.1	25.0	25.1
2012年度	25.6	25.7	25.6	26.2	25.8

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2
2011年度	12.4	26.2	26.4	27.5	23.2
2012年度	29.3	29.4	28.9	29.6	29.3

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3
2011年度	8.1	15.1	14.9	14.8	13.4
2012年度	14.7	14.8	14.5	14.5	14.6

②440円以上市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4
2011年度	37.6	36.4	37.0	36.6	36.9
2012年度	36.6	36.9	39.5	36.6	36.7

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1
2011年度	21.5	41.3	40.2	40.4	36.2
2012年度	40.1	40.2	36.7	39.7	39.9

(注)：2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70
2011年度	5.41	9.19	9.29	9.86	8.51
2012年度	9.70	9.76	9.62	9.63	9.68

医薬事業 臨床開発品目一覧（2013年4月25日現在）

< 自社開発品 >

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303 (elvitegravir)	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	国内:申請準備中	自社品
JTT-705 (dalcatrapib)	脂質異常症 /経口	CETPモジュレート	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	国内:Phase2	自社品
JTT-302	脂質異常症 /経口	CETP阻害	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	海外:Phase2	自社品
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	高リン血症 /経口	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	国内:申請中	導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内:Phase2 海外:Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内:Phase1 海外:Phase1	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase1	自社品

* 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

< 導出品 >

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences社	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	(適応:HIV感染症) 単剤:米国・欧州 申請中 配合錠:欧州 申請中 新規配合錠:Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応:メラノーマ) 米国・欧州 申請中 (適応:メラノーマ dabrafenib併用) 欧州 申請中
dalcatrapib (JTT-705)	Roche社	CETPモジュレート	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	2012年5月7日、開発中止を発表
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	

前回公表時(2013年1月31日)からの変更点

・スタリビルド®配合錠(JTK-303を含む配合錠)につき、製造販売承認を取得(2013年3月25日)